学則の変更の趣旨等を記載した書類

１．学則変更（収容定員変更）の内容

鳥取大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については，平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき後期日程に５名の恒久定員増を，「緊急医師確保対策」に基づき，推薦入試Ⅱ（特別養成枠）に平成 29 年度までの期限を付した５名の臨時定員増を実施した。

「緊急医師確保対策」に基づく臨時定員増５名については，平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を実施した。

また，「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき，平成 22 年度に 13 名（鳥取県枠８名，島根県枠２名，兵庫県枠２名，山口県枠１名）を，「新成長戦略」に基づき平成 23 年度に４名（鳥取県枠２名，島根県枠２名）を，平成 24 年度に３名（鳥取県枠２名，島根県枠１名）を，前期日程（臨時養成枠）として平成 31 年度までの期限を付した臨時定員増としてそれぞれ実施した。

平成 31 年度を期限とする 25 名の入学定員の内 24 名について，令和４年度までの期限を付した再度の入学定員増を行った。また，令和５年度は将来の県内医師数の不足及び診療科偏在を解消するため，特別養成枠を 1 名増やし，合計 25 名の入学定員増を行った。

令和６年度も再度 25 名の入学定員増を行い，入学定員を再度の定員増を行わなかった場合の 80 名から 105 名に変更する。

これに合わせて，令和６年度の収容定員についても令和６年度の期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ，再度の定員増を行わなかった場合の 627 名から 652 名に変更し、以後の年度についても令和６年度の入学定員増を反映した数に修正する。

２．学則変更（収容定員変更）の必要性

鳥取県では，令和５年に県が実施した医師数調査において全県で 211.6 人の医師が不足していた。二次医療圏別では，鳥取県東部で 83.4 人，中部で 58.9 人，西部（鳥取大学医学部附属病院を除く）で 46.6 人の医師が不足しており，医師の充足率は，東部 81.1%，中部 70.8%，西部 85.8%であった。診療科ごとでは，内科や外科を含めほとんどの診療科において，全県的に不足していた。

また，中山間地域を抱える町村部を中心に，公立病院等の医師が不足しており，各病院や地元の自治体から鳥取県へ多くの医師派遣要請があるが，まだ十分には応えることができない現状である。特別養成枠の奨学金制度は，内科または総合診療医か政策的診療科（産科，小児科，精神科，救急科。令和４年度までの「特定診療科」から名称変更。）等の医師（県職員）として９年間中山間地域等の地域医療に貢献することが返還免除の要件である。令和６年度の期限を付した再度６名の定員増により，鳥取県が必要とする中山間地の医療を担う医師や不足している診療科等の医師を確保するものである。

また，臨時養成枠（鳥取県枠）の 12 名の定員増の継続により，鳥取県が必要とする全県の医療を担いつつ、特に医師不足が顕著な鳥取県東部及び中部の医療を担う医師を確保するものである。

島根県では，令和４年度の勤務医師実態調査において，全県で 193.6 人の医師が不足していた。特に雲南地区や島根県西部の大田，浜田，益田地区の医師充足率は全県値と比べて低く，診療科別では，眼科，耳鼻咽喉科の充足率が 70%未満であった。臨時養成枠（島根県枠）の令和６年度の期限を付した５名の定員増の継続により，島根県が必要とする医師を確保するものである。

兵庫県では，８圏域のうち神戸圏域と阪神圏域の人口 10 万人対医師数は全国平均を上回る一方で，その他６つの圏域のうち４つの圏域は全国値を１～２割下回る状況であり，地域偏在が生じている。また、へき地の医療機関や小児科，産科及び救急科等の診療科・診療分野では，特に勤務医不足が顕在化しており，医療の継続が困難となっている状況である。引き続き県内のどの地域でも安心して医療が受けられる地域医療体制の確保が課題となっている。臨時養成枠（兵庫県枠）の令和６年度の期限を付した２名の定員増の継続により，兵庫県が必要とする医師を確保するものである。

３．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（１）入学者選抜方法

令和６年度の鳥取大学医学部医学科の特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）において特別養成枠の選抜を，一般選抜（前期日程）において鳥取県枠，島根県枠，兵庫県枠をいずれも別枠の入試で実施する。

●出願資格

・特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）特別養成枠

鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」（※）の決定を受けている者で，高等学校を令和４年３月及び令和５年３月に卒業した者（令和３年４月から令和５年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）並びに令和６年３月卒業見込みの者（令和５年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，かつ，令和６年度大学入学共通テストを受験する者で，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち，高等学校長が責任をもって推薦できる者

・一般選抜（前期日程）鳥取県枠

卒業年度を問わない。出身地，出身高等学校は県内外を問わない。

・一般選抜（前期日程）島根県枠

卒業年度を問わない。出身地，出身高等学校は県内外を問わないが，卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し，地域医療に貢献する強い使命感を有していること。

・一般選抜（前期日程）兵庫県枠
卒業年度を問わない。出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時において本人又は保護者が兵庫県に居住していること。

●出願手続
・特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）及び一般選抜（前期日程）の出願期間に，特別養成枠選抜及び鳥取県枠，島根県枠，兵庫県枠にインターネットにより出願をさせる。
・出願書類：特別養成枠選抜は，共通テスト成績請求票，調査書及び推薦書（出身高等学校長作成），検定料，「予約奨学生」の決定通知書（写），確約書等。鳥取県枠，島根県枠，兵庫県枠は，共通テスト成績請求票，調査書，確約書（誓約書），自己評価シート，検定料，志望所信書（兵庫県枠のみ）等。

●選抜方法
・特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）で特別養成枠の選抜を実施する。大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合的に判定する。
・一般選抜（前期日程）鳥取県枠，島根県枠，兵庫県枠で選抜を実施する。大学入学共通テストの成績，個別学力検査等の成績及び調査書，自己評価シート等の結果を総合して判定する。

（２）教育課程の内容
地域医療に関する卒前教育は，１年次に基礎地域医療学で地域医療に関する基礎的な知識と考え方を伝えている。早期体験実習では大学病院及び中小病院・クリニックの見学を行い，入学後早期に地域医療への動機付けを促している。３年次には，総合診療の基礎となる「症候学」を症例基盤型で学習し，臨床推論のトレーニングを行う。また研究室配属では，特別養成枠学生（各学年５名）が地域医療学講座に配属され，地域医療教育拠点として日野病院に設けられた「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」を拠点に総合診療と保健・医療・福祉の連携，地域包括ケア，多職種連携などについて学ぶ機会を設けている。４年次の地域医療体験では，鳥取県全域の種々の医療施設（各自３施設）を訪問し，医療人類学の方法論（エスノグラフィー）を用いてポートフォリオ作成を行い教官からの逐次フィードバックを受ける。５年次のクリニカルクラークシップⅠでは，鳥取大学地域医療総合教育研修センター（日野病院）あるいは家庭医療教育ステーション（大山診療所）の地域医療実習を必修とし，

１週間のプライマリ・ケアに関する実習をおこなう。６年次にクリニカルクラークシップⅡで地域医療を希望した学生には前述の地域医療総合教育研修センターあるいは家庭医療教育ステーションで，１ケ月の間，総合診療を中心とした外来・病棟演習、在宅医療、住民への健康講座の計画実践などをおこなっている。

さらに，鳥取大学は平成 30 年度に国際基準による医学教育認証を受審した。医学教育改革に向けてコンピテンシーについての議論がなされ，「地域医療」を８項のコンピテンスの一つに位置づけた。また，地域枠学生の地域医療へのモチベーションを喚起するため，地域医療学講座が提案する複数企画（総合診療演習，プライマリ・ケア連合学会への参加，家庭医療学テキスト勉強会，読書会、モデル地区での地域体験ツアー，海外での家庭医療研修など）や鳥取県企画のサマーセミナー・スプリングセミナーのうち，一つ以上の企画参加を必須とし，自らの年度目標と総括を義務付け，正規のカリキュラム外での自発的な地域医療学習を促している。

（３）卒業後のキャリアパス形成

１．鳥取県の特別養成枠について

平成 29 年３月に鳥取大学特別養成枠と自治医科大学の医師のキャリアパスが改訂され，さらに令和元年７月に追加の改訂がされた。これらの医師はいずれも県職員として９年間勤務の義務を有するので，両者に共通の制度として整備された。

１）鳥取大学特別養成枠卒業医師の臨床研修（医籍登録後１，２年目）

県内の基幹型臨床研修病院で研修する。（事情により，福祉保健部長が適当であると認めた場合には，県外での実施も可とする。）

２）後期研修及び派遣

次の通り実施する。

①内科診療を中心とする総合医として勤務をする場合。

・後期研修１：臨床研修を修了した直後に，県立の基幹型臨床研修病院または鳥取大学医学部附属病院のうち，県の指定する病院で実施する。（同３年目）

・後期研修１修了後の総合医の派遣先は自治体病院とする。（同４～５年目）

・後期研修２：おおむね医籍登録後６年目の１年間とし，県内基幹型臨床研修病院での実施を基本とする。

・後期研修２修了後の派遣先は，自治体病院等とする。（同７～９年目）

※医籍登録後３年目からの４年間で，内科専門医または総合診療専門医の取得を目指すことができる。

・ 内科診療を中心とする総合医として勤務してきた医師で，将来内科・総合医や政策的診療科以外の専門領域をめざす医師は，６年目に中山間地の自治体病院等での内科・総合医として勤務した後，７年目から９年目は各自が目指す選択領域の専門研修をすることを認める。ただし，中山間地の公的医療に派遣す

る医師が確保されることが要件とされている。

②政策的診療科（産婦人科，小児科，精神科及び救急科）に進む場合。

・政策的診療科選択願を提出して，福祉保健部長の承認を受けなければならない。

・選択した診療科について，県内病院を基幹施設とする専門医研修プログラムに従って鳥取県内の病院において実施する。なお、鳥取大学医学部附属病院での研修期間は１年間とする。（同３～５年目）

・ 後期研修修了後の派遣先は，原則として自治体病院等とする。ただし、鳥取大学医学部附属病院での１年間の研修を認める。（同６～９年目）

３）派遣先の決定

鳥取県福祉保健部と病院局及び県立病院が協議のうえ異動案を作成し，知事決裁により決定する。

２．臨時養成枠（鳥取県枠）の医師について

厚生労働省より令和３年４月に通知があった「地域枠の定義」に基づき、卒業後、12 年間のうちに９年間以上県内病院で勤務すること、この期間のうち、医師の確保を図るべき区域等（知事が指定した区域）において臨床研修期間を除き４年以上勤務するよう従事要件が改定された。なお、専門領域についての制限はない。

３．臨時養成枠（島根県枠）の医師について

厚生労働省から通知があった「地域枠の定義」に基づき，次の通り従事要件が改定された。大学卒業後，12 年間のうちに９年間，知事が定める島根県内の指定医療機関に勤務する。ただし、鳥取大学で専門研修を行う場合については、３年間を限度に猶予期間が延長される。また，９年間のうち４年間は島根県の過疎地域に所在する特定地域医療機関に勤務する必要がある。専門領域についての制限はない。

初期臨床研修を島根県内の過疎地域に所在する指定医療機関（特定地域医療機関）で実施した場合，特定地域医療機関の勤務年数に含まれる。

４．臨時養成枠（兵庫県枠）の医師について

医籍登録後，一定の期間（９年間を基本）を県職員として，県が指定する医師不足地域等の医療機関で勤務する。

１）医籍登録後１～２年目：へき地医療に関わりがある臨床研修病院で研修する。

２）前期派遣（医籍登録後３～５年目）：へき地等の医療供給体制を確保するために勤務する。

キャリア支援のため，以下のコースを設定している。

・内科・総合診療育成コース
・特定診療科育成コース，若干名（小児科，産婦人科，外科，救急科，整形外科）
・精神保健指定医育成コース，若干名

３）後期研修（医籍登録後６～７年目）

より高度で専門的な医療技術を修得する。大学病院や県立病院での研修も可能である。

４）後期派遣（医籍登録後８～９年目）

へき地等での医療提供体制を確保するために勤務する。前期派遣で選択したコースの診療科に派遣する。

# 令和６年度
# 医学部入学定員増員計画

鳥大医学第１９―４号
令和５年８月２１日

文部科学省高等教育局長　殿

職名及び氏名
鳥取大学長　中島　廣光

「地域の医師確保等の観点からの令和６年度医学部入学定員の増加について（令和５年８月８日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

＜連絡先＞

| | | |
|---|---|---|
| 責任者連絡先 | 職名・氏名 | 鳥取大学米子地区事務部学務課長　　足立　学 |
| | TEL | 0859-38-7093 |
| | FAX | 0859-38-7109 |
| | E-mail | me-gakumusoum@ml.adm.tottori-u.ac.jp |

| 大学名 | 国公私立 |
|---|---|
| **鳥取大学** | 国立 |

**1．現在（令和５年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員**

| 入学定員 | 2年次編入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
|---|---|---|---|
| 105 | 5 | 0 | 652 |

（収容定員計算用）

| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （ア）入学定員 | 105 | 105 | 104 | 104 | 104 | 105 | 627 |
| （イ）2年次編入学定員 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 0 | 25 |
| （ウ）3年次編入学定員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 110 | 110 | 109 | 109 | 109 | 105 | 652 |

**2．本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和６年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員**

| 入学定員 | 2年次編入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
|---|---|---|---|
| 80 | 5 | 0 | 505 |

（収容定員計算用）

| | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （ア）入学定員 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 480 |
| （イ）2年次編入学定員 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 0 | 25 |
| （ウ）3年次編入学定員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 85 | 85 | 85 | 85 | 85 | 80 | 505 |
| （臨時的な措置で減員した場合、その人数） | | | | | | | |

**3．令和６年度の増員計画**

| 入学定員 | 2年次編入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
|---|---|---|---|
| 105 | 5 | 0 | 530 |

（収容定員計算用）

| | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （ア）入学定員 | 105 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 505 |
| （イ）2年次編入学定員 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 0 | 25 |
| （ウ）3年次編入学定員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 110 | 85 | 85 | 85 | 85 | 80 | 530 |
| （臨時的な措置で減員した場合、その人数） | | | | | | | |

| 増員希望人数 | **25** |
|---|---|

（内訳）

| | |
|---|---|
| (1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠） | **25** |
| (2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠） | **0** |
| 計 | **25** |

## １．地域の医師確保のための入学定員増について

| 増員希望人数 | 25 |
|---|---|

### （１）対象都道府県名及び増員希望人数

| | 都道府県名 | 増員希望人数 |
|---|---|---|
| 大学が所在する都道府県 | 鳥取県 | 18 |
| 大学所在地以外の都道府県 | 兵庫県 | 2 |
| | 島根県 | 5 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 25 |

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

### （２）修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

| 都道府県名 | R4地域枠定員（※1） | R4貸与者数（※2） | R5地域枠定員（※1） | R5貸与者数（※2） | R4とR5の貸与者数のうち多い方の数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 鳥取県 | 17 | 27 | 18 | 30 | 30 |
| 兵庫県 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 島根県 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | | | | | 0 |
| | | | | | 0 |
| | | | | | 0 |
| 計 | 24 | 34 | 25 | 37 | 37 |

（※1）臨時定員分のみご記入ください。
（※2）恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。
※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

## （３）令和6年度地域の医師確保のための入学定員増について

### １．大学が講ずる措置

### １－１．地域枠学生の選抜

①**令和４年度に実施した**地域枠学生(令和５年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

| 名称 | 入試区分 | 選抜方式 | 募集人数 | うち臨時定員分 | 選抜方法（※1） | 出願要件（※1） | 診療科の限定の有無 | （診療科の限定（推奨）がある場合）その診療科名 | 開始年度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校推薦型選抜Ⅱ（特別養成枠） | （ⅰ）学校推薦型選抜 | 別枠（区別型） | 6 | 6 | 大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合判定する。<br>「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で，大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定する。同点の場合は，面接の得点の高い者を上位とし，さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とする。<br>・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となる。<br>・「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「特別養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「地域枠」として選抜の対象となる。<br>・「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「特別養成枠」を優先して選抜し，「特別養成枠」の合格者とならなかった場合，「地域枠」として選抜の対象となり，「地域枠」の合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となる。 ・「特別養成枠」について，鳥取県緊急医師確保対策奨学金予約奨学生申請の結果，予約奨学生に決定されなかった者は，「特別養成枠」の合格者にならない。<br>・なお，面接試験において医療人としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがある。 | 鳥取県に「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」の申請をしている者で，高等学校を令和3年3月及び令和4年3月に卒業した者（令和2年4月から令和4年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）並びに令和5年3月卒業見込みの者（令和4年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，かつ，令和5年度大学入学共通テストを受験する者で，次の各号に該当し，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち，高等学校長が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は入学することを確約できる者。<br><br>（1）医学に興味を持ち，人物・学力が優秀な者<br>（2）合格した場合は，入学することを確約できる者<br>（3）入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者<br>【推薦できる人数】<br>卒業見込者：1高等学校につき8人以内（注）<br>既卒者：推薦人数の制限はない<br>（注）1高等学校につき卒業見込者の推薦できる人数は，一般枠，地域枠，特別養成枠の人数の合計。 | 推奨 | 内科，産科，小児科（脳神経小児科を含む），精神科，救急科 | H21以前 | |
| 学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠） | （ⅰ）学校推薦型選抜 | 別枠（区別型） | 5 | 0 | | 鳥取県内の高等学校を令和3年3月及び令和4年3月に卒業した者（令和2年4月から令和4年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和5年3月卒業見込みの者（令和4年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，医学に興味を持ち，人物・学力が優秀で，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持つ者で，入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者<br>この地域枠については，鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨をよく理解したうえで，出願してください。（入学後，鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）<br><br>【推薦できる人数】<br>（内訳）<br>卒業見込者：1高等学校につき8人以内（注）<br>既卒者：推薦人数の制限はない<br>（注）1高等学校等につき卒業見込者の推薦できる人数は，一般枠，地域枠の人数の合計。 | 無 | | H21以前 | |
| 一般選抜（鳥取県枠） | （ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 14 | 12 | 大学入学共通テストの成績，個別学力検査等の成績及び調査書等の結果により総合判定する。<br>大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が900点満点中600点以上の者を第1段階選抜の合格者とする。<br>・「一般枠」「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定する。同点の場合は，面接の得点の高い者，さらに同点の場合は，個別試験の合計点の高い者，さらに同点の場合は，大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし，さらに同点の場合は，調査書等により総合的に判断する。<br>「一般枠」と「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」を併願した場合の合否判定方法は，「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となる。<br>・面接試験において医療人としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがある。 | 卒業年度を問わない。出身地，出身高等学校は県内外を問わない。 | 無 | | H22 | |
| 一般選抜（兵庫県枠） | （ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 2 | 2 | | 卒業年度を問わない。出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時において本人又は保護者が兵庫県に居住していること。 | 無 | | H22 | |
| 一般選抜（島根県枠） | （ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 5 | 5 | | 卒業年度を問わない。出身地，出身高等学校は県内外を問わないが，卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し，地域医療に貢献する強い使命感を有していること。 | 無 | | H22 | |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医学科学士編入学 | （ⅳ）その他※備考欄に詳細を記入 | | 5 | 0 | 課題論文，成績証明書などの出願書類並びに学力試験及び面接の結果を総合し，学力，人間性共に優れた人材を合格者とする。面接試験において，医師としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがある。 | 次の1から3の条件をすべて満たす者とする。<br>1．将来，鳥取県の地域医療に貢献したいという熱意と強い意志を持つ者で，入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者。<br>※本募集は，鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨をよく理解したうえで，出願してください。（入学後，鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）<br>2．次の条件（1）～（3）のいずれかに該当する者。<br>（1）大学を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者（医学部医学科を除く）。<br>（2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位（学士（医学）を除く）を授与された者，又は外国においてこれに相当する学位を授与された者。<br>（3）（1），（2）を満たさない者で，大学院修士課程又は博士課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者。<br>3．次の条件（1）又は（2）のいずれかに該当する者。<br>（1）鳥取県，島根県，岡山県，広島県，兵庫県の高等学校を卒業した者。<br>（2）父母のいずれかの現住所地が鳥取県の者。<br>（父母については義理の父母も含むものとする。） | 無 | | R4 | 学士（2年次）編入学試験 |
| 合計 | | | 37 | 25 | | | | | | |

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②**令和５年度に実施する**地域枠学生(令和６年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット，ホームページ，テレビ，新聞，雑誌等）の写しをご提出ください。

| 名称 | 入試区分 | 選抜方式 | 募集人数 | うち臨時定員分 | 選抜方法（※1） | 出願要件（※1） | 診療科の限定の有無 | （診療科の限定（推奨）がある場合）その診療科名 | 開始年度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校推薦型選抜Ⅱ（特別養成枠） | （ⅰ）学校推薦型選抜 | 別枠（区別型） | 6 | 6 | 大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合判定する。<br>「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で，大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定する。同点の場合は，面接の得点の高い者を上位とし，さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とする。<br>・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となる。<br>・「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「特別養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「地域枠」として選抜の対象となる。<br>・「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「特別養成枠」を優先して選抜し，「特別養成枠」の合格者とならなかった場合，「地域枠」として選抜の対象となり，「地域枠」の合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となる。 ・「特別養成枠」について，鳥取県緊急医師確保対策奨学金予約奨学生申請の結果，予約奨学生に決定されなかった者は，「特別養成枠」の合格者にならない。<br>・なお，面接試験において医療人としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがある。 | 鳥取県に「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」の申請をしている者で，高等学校を令和4年3月及び令和5年3月に卒業した者（令和3年4月から令和5年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）並びに令和6年3月卒業見込みの者（令和5年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，かつ，令和6年度大学入学共通テストを受験する者で，次の各号に該当し，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち，高等学校長が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は入学することを確約できる者。<br><br>（1）医学に興味を持ち，人物・学力が優秀な者<br>（2）合格した場合は，入学することを確約できる者<br>（3）入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者<br>【推薦できる人数】<br>卒業見込者：1高等学校につき8人以内（注）<br>既卒者：推薦人数の制限はない<br>（注）1高等学校につき卒業見込者の推薦できる人数は，一般枠，地域枠，特別養成枠の人数の合計。 | 推奨 | 内科，産科，小児科（脳神経小児科を含む），精神科，救急科 | H21以前 | |
| 学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠） | （ⅰ）学校推薦型選抜 | 別枠（区別型） | 5 | 0 | | 次の各号にすべて該当する者<br>（1）鳥取県内の高等学校を令和3年3月及び令和4年3月に卒業した者（令和2年4月から令和4年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和5年3月卒業見込みの者（令和4年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）<br>（2）医学に興味を持ち，人物・学習成績が優秀な者<br>（3）入学後は，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者<br>（4）卒業後は，鳥取県の地域医療に貢献すること確約できる者<br>（5）医師免許取得後，直ちに鳥取県内病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者<br>（6）臨床研修修了後，原則9年以内に鳥取県知事が指定する県内病院等において4年間通算して勤務することを確約できる者<br><br>（注）1高等学校につき卒業見込者の推薦できる人数は，一般枠，地域枠，特別養成枠の人数の合計8人以内。 ただし，地域枠，特別養成枠の既卒者については，推薦人数の制限はありません。 | 無 | | H21以前 | |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般選抜（鳥取県枠） | （ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 14 | 12 | 大学入学共通テストの成績，個別学力検査等の成績及び調査書等の結果により総合判定する。<br>大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が900点満点中600点以上の者を第1段階選抜の合格者とする。<br>・「一般枠」「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定する。同点の場合は，面接の得点の高い者，さらに同点の場合は，個別試験の合計点の高い者，さらに同点の場合は，大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし，さらに同点の場合は，調査書等により総合的に判断する。<br>「一般枠」と「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」を併願した場合の合否判定方法は，「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となる。<br>・面接試験において医療人としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがある。 | 卒業年度を問わない。出身地，出身高等学校は県内外を問わない。 | 無 | | H22 | |
| 一般選抜（兵庫県枠） | （ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 2 | 2 | | 卒業年度を問わない。出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時において本人又は保護者が兵庫県に居住していること。 | 無 | | H22 | |
| 一般選抜（島根県枠） | （ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 5 | 5 | | 卒業年度を問わない。出身地，出身高等学校は県内外を問わないが，卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し，地域医療に貢献する強い使命感を有していること。 | 無 | | H22 | |
| 医学科学士編入学 | （ⅳ）その他※備考欄に詳細を記入 | | 5 | 0 | 課題論文，成績証明書などの出願書類並びに学力試験及び面接の結果を総合し，学力，人間性共に優れた人材を合格者とする。面接試験において，医師としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがある。 | 次の1から3の条件をすべて満たす者とする。<br>1．将来，鳥取県の地域医療に貢献したいという熱意と強い意志を持つ者で，入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者。<br>※本募集は，鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨をよく理解したうえで，出願してください。（入学後，鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）<br>2．次の条件（1）～（3）のいずれかに該当する者。<br>（1）大学を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者（医学部医学科を除く）。<br>（2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位（学士（医学）を除く）を授与された者，又は外国においてこれに相当する学位を授与された者。<br>（3）（1），（2）を満たさない者で，大学院修士課程又は博士課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者。<br>3．次の条件（1）又は（2）のいずれかに該当する者。<br>（1）鳥取県，島根県，岡山県，広島県，兵庫県の高等学校を卒業した者。<br>（2）父母のいずれかの現住所地が鳥取県の者。<br>（父母については義理の父母も含むものとする。） | 無 | | R4 | 学士（2年次）編入学試験 |
| 合計 | | | 37 | 25 | | | | | | |

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット，ホームページ，テレビ，新聞，雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## １－２．教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和６年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次に「基礎地域医療学」，3年次に「総合診療−症候学−」，「研究室配属」を行い，４年次には，「臨床地域医療学」「地域医療体験」，そして4年次～6年次に「臨床実習Ⅰ・Ⅱ」を学ぶなど，6年間を通じた地域医療教育プログラムを導入している。
なお，地域医療教育サテライト施設を含む地域の病院・診療所で，実習を行う機会を確保している。また，キャリア支援として，5年生，6年生の鳥取県地域枠の学生に対して，グループ別に鳥取県・地域医療支援センター（附属病院内に設置）と地域医療学講座が共同でグループ面談を行っている。
令和5年度も，引き続き地域医療教育プログラムを継続し，地域枠学生の教育等に万全を期す。

（参考：記入例）
1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和４年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成18年度から地域枠（推薦Ⅱ地域枠5名）を設置，平成21年度からは臨時定員の地域枠を設置し，鳥取県の医師確保に取り組んでいる。
令和5年度まで315名の地域枠学生を確保し，そのうち138名が現在鳥取県内の病院等に勤務する医師として地域医療に貢献している。

（参考：記入例）
平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和４年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

| 対象学年 | 講義・実習名 | 対象者（※1） | 必修／選択の別 | | 講義／実習の別 | 単位数 | 開始年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 地域枠学生 | その他の学生 | | | |
| 1年次 | 基礎地域医療学 | 全員 | 必修 | 必修 | 講義 | 0.5 | H30 |
| 3年次 | 総合診療−症候学− | 全員 | 必修 | 必修 | 講義 | 1.5 | H30 |
| 3年次 | 研究室配属 | 全員 | 必修 | 必修 | 実習 | 3.5 | H26 |
| 4年次 | 臨床地域医療学 | 全員 | 必修 | 必修 | 講義 | 0.5 | H21以前 |
| 4年次 | 地域医療体験 | 全員 | 必修 | 必修 | 実習 | 1 | H21以前 |
| 4年次～5年次 | 臨床実習Ⅰ | 全員 | 必修 | 必修 | 実習 | 35 | H21以前 |
| 6年次 | 臨床実習Ⅱ | 全員 | 必修 | 必修 | 実習 | 18 | H21以前 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）
※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

| 対象学年 | プログラム名 | 対象者（※1） | 都道府県との連携 | 期間（例：○週間） | プログラムの概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1－4年 | くろさか春夏秋冬　セミナー | 地域枠学生 | なし | 季節ごと、1日づつ | 医学科・保健学科・YMCA学生が混合でモデル地区（鳥取県日野町黒坂）に行って地域活動に参加する。 | H25 |
| 全学年 | サマーセミナー・スプリングセミナー | 地域枠学生 | あり | 夏休み、春休み | 鳥取県内の希望する病院・診療所の見学を行う。 | H21以前 |
| 1－4年 | 文献検索マスター | 地域枠学生 | なし | 年2回、2日間 | 地域医療に関する疑問について、ウエブでの文献検索する手法を教える。 | R3 |
| 1－4年 | 家庭医療学McWhinney読破コース | 地域枠学生 | なし | 毎週1回 | 家庭医療テキストを学生と原著で輪読する。 | H28 |
| 1－4年 | T-HOC日野セミナー | 地域枠学生 | なし | 年1回、一日 | T-HOC(在宅医療推進のための看護師育成支援事業)の地域開催イベントに参加してもらう。 | R2 |
| 1－4年 | 映画鑑賞と地域医療 | 地域枠学生 | なし | 年2回、2日間 | 教員の作成した映画「下街ろまん」鑑賞と地域医療の関連を議論しレポートする。 | R3 |
| | | | | | | |

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和４年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

| 取組の名称 | 取組の概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|---|---|---|
| 英国家庭医療研修 | 地域枠に限らず学生有志5名程度を選抜し、英国のケンブリッジ大学で1週間程度の家庭医療研修を行う。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、R3年度よりリモートで開催している。 | H29 |
| インドネシア家庭医療研修 | 鳥取大学と連携協定を結んでいるインドネシアのディポネゴロ大学にて家庭医療研修を行う。（R5年度新規） | R5 |
| | | |
| | | |
| | | |

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## ２．都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第４条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

| 奨学金の設定主体 | 貸与人数 | 貸与対象 | 貸与額　（例：200,000） | | 返還免除要件 | 選抜方法 | | 診療科の限定の有無 | （診療科の限定（推奨）がある場合）その診療科名 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 月額 | 総貸与額 | | 選抜時期 | 大学の関与の有無（※1） | | | |
| 鳥取県 | 14 | 新入生 | 150,000 | 10,800,000 | 大学を卒業した日の属する年度の翌年度の初日から起算して2年以内に医師免許を取得した後、直ちに県内の病院が管理を行う臨床研修を受け、当該臨床研修を開始した日から起算して臨時特例医師確保対策奨学金（以下この項において「奨学金」という。）の貸与を受けた期間の2倍に相当する期間内に、指定病院等において常勤医師としての業務に奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間（以下この項において「免除条件期間」という。）以上通算して従事し、かつ、当該免除条件期間（臨床研修を受ける期間を除く。）内に、知事が指定した区域に所在する指定病院等において4年以上通算して従事したとき。 | ③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与 | × | × | | |
| 鳥取県 | 6 | 新入生 | 150,000 | 10,800,000 | 大学を卒業した日から起算して2年以内に医師国家試験に合格し、当該試験に合格した年度の翌年度に医師として県職員に採用され、当該採用された日から起算して緊急医師確保対策奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間を県職員として、勤務命令病院等において医師の業務に従事したとき。 | ①大学における選抜前に都道府県において面接等を実施 | × | | （内科、小児科(脳神経小児科含む)、産科、救急科、精神科） | 診療科推奨 |
| 兵庫県 | 2 | 新入生 | 約160,000 | 11,514,800 | 知事は，修学生が次の（1），（2）のいずれかに該当するに至ったときは，修学資金の返還債務を免除するものとする。<br>（1）大学を卒業し医師免許取得後，直ちに医師として指定医療機関に引き続いて勤務した期間（医師法（昭和23年法律第201号）第16条の2第1項の規定に基づく臨床研修を含む。）が9年間（貸与期間が4年未満の場合は5年間）に達したとき。<br>（2）（1）に記載の勤務期間中に公務により死亡し，又は公務に起因する心身の故障のため免職されたとき。 | ②大学における選抜と同時に都道府県において面接等を実施 | × | × | | 1年生のみ入学金（500,000円）を含む。 |
| 島根県 | 5 | 新入生 | 100,000 | 10,696,800 | 医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12年を経過する日までの間に，指定医療機関で臨床研修を受け，かつ，その期間を含めて9年間指定医療機関（うち4年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事したとき。 | ③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与 | × | × | | 入学金（282,000円）、6年間の授業料（3,214,800円）を含む。 |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（例：在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援）（1～2行程度）

| 取組の名称 | 取組の概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|---|---|---|
| 入試説明会 | 県と協力し，県内の高等学校へ入試の地域枠について概要，奨学金，キャリア形成等の説明会を開催している。 | H21以前 |
| 5・6年次学生の面談 | 鳥取県，鳥取大学医学部地域医療学講座及び地域医療支援センターと協力し、臨床研修および専門研修等に関してキャリア形成支援を実施している。 | H27 |
| 医師のキャリア支援 | 毎年、鳥取県，鳥取大学医学部地域医療学講座及び地域医療支援センターが共同で調査票によって研修状況等を把握し、希望者等の面談を行い、キャリア形成支援を実施している。 | H27 |
| 入学時の制度説明会 | 鳥取県，鳥取大学医学部地域医療学講座及び地域医療支援センターと協力し、地域枠制度ごとに卒業後の奨学金返還免除要件の説明会を実施している。 | R4 |
| 地域医療実習（島根県） | 島根県と島根大学が連携して、島根県内地域医療機関での実習を年2回企画。本学在学生も対象とされており、実習終了後は、参加者が一堂に会する意見交換会を実施 | H21以前 |
| キャリア面談（島根県） | 卒業後は、毎年、（一社）しまね地域医療支援センターが、島根県や本学等と密に連携しながら、地域枠医師と面談を行い、地域勤務とキャリア形成の両立を支援 | H25 |
| 在学者面談（島根県） | 在学中は，毎年，島根県職員（医師）が学生と面談を行い，キャリア形成を支援。本学の地域医療学講座とも適宜情報を共有。 | H26 |

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

**３．その他**

**<u>１～２に記入したもの以外で、</u>**その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

毎年，大学と県内高等学校長との懇談会を開催している。その中で地域枠の説明と受験生確保について協力を依頼している。

## ２．研究医養成のための入学定員増について

| 増員希望人数 | 0 |
|---|---|

### （１）令和６年度研究医養成のための入学定員増について

**大学が講ずる措置**

※令和５年度までの取組を継続して行う場合には、必要に応じて見直しを行ったうえで、当該取組も記載すること。

**１．コンソーシアムの形成**

①以下をご記入ください。複数のコンソーシアムを形成している場合には、コンソーシアムごとにご記入ください。

| | 連携大学 | 取組の概要（1～3行程度） | （連携先大学が研究医枠による増員を行っている場合）<br>連携大学との役割分担（※1） | 開始年度 |
|---|---|---|---|---|
| No.1 | | | | |
| No.2 | | | | |
| No.3 | | | | |

## ２．特別コース（※）の設定

（※）「特別コース」とは、学部・大学院教育を一貫して見通した研究医養成のための重点的プログラムを指します。

①特別コースの概要について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。その際、平成22年度～令和５年度に実施した取組で継続して行うもののほか、令和６年度に新たに行おうとする取組についてもご記入ください。

（選抜の時期、授業内容、特別コースに入ることにより大学院進学が促進される仕組み（MD-PhD、単位の先行履修、論文認定、キャリア支援の取組など）

| | |
|---|---|
| | （参考：記入例）<br>MD-PhDコースや▲年次での大学院進学を促すとともに、○年次に選抜を行い、「○○」という科目等を開講して～～を学んでいる。学部・大学院での一貫した研究を促すため、△△、□□を行っている。またキャリア支援として、～～を実施している。令和５年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。 |

②研究医養成のための一貫した特別コースついて、以下をご記入ください。併せて、概要がわかる資料をご提出ください。

| 選抜の時期　（※1） | | コースの名称 | 年次 | 募集定員（※2） | 大学院への進学時期（※3） | 開始年度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 選抜入試 | | | | | | |
| | 特定の学年次に希望者を募集 | | | | | | |
| | その他（備考欄に詳細を記入） | | | | | | |

（※1）複数段階に分けて選抜を行っている場合には、該当する全てに○をご記入ください。
（※2）最低人数を定めている場合には、「○名以上」という形でご記入ください。
（※3）特別コースの学生の大学院進学時期について全てご記載ください。（例：5年次（MD-PhD）／卒後直後に進学／卒後、臨床研修後に進学／卒後、臨床研修と並行して進学）

③研究医養成のための選抜入試について、以下をご記入ください。

| | |
|---|---|
| 研究医養成のために特別な入試を実施しているか。 | |

（「○」を選択した場合）以下をご記入するとともに、募集要項の写しをご提出ください。

| 名称 | 入試区分 | 募集人数 | うち臨時定員分 | 選抜方法（※1） | 開始年度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 合計 | | 0 | 0 | | | |

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット，ホームページ，テレビ，新聞，雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。
※複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

④研究医養成のための教育内容（正規科目）について、以下をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

| 対象学年 | 講義・実習名 | 対象者（※1） | 必修／選択の別 | | 講義／実習の別 | 単位数 | 開始年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 研究医コース学生 | その他の学生 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。（研究医コース学生の希望者のみの場合は、対象者を「研究医コース学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑤大学の正規科目以外で、研究医養成プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

| 対象学年 | プログラム名 | 対象者（※1） | 期間（例：○週 | プログラムの概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑥特別コースに関する取組のうち、以下の項目に関連するものについてご記入ください。なお、必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。
（項目：専用の入試枠の設定による選抜の実施、学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置、学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築、臨床研修により研究活動が中断されることのないようにするための配慮、研究医となった際の常勤ポストの確保、海外での研修の機会（1か月以上））

| （項目） | 概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑦**上記②～⑥以外に、**研究医養成の特別コースに関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。
（令和５年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

| 取組の名称 | 取組の概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑧特別コースの履修者の確保状況について、以下をご記入ください。

| | R3 | R4 | R5 | 直近3年間の平均 |
|---|---|---|---|---|
| 人数（名） | | | | #DIV/0! |

※当該年度の新規履修者のみを計上してください。

## ３．奨学金の設定

①卒後一定期間の研究医としての従事を要件とする奨学金の設定について、以下をご記入ください。
複数の奨学金を設定している場合には、それぞれについてご記入ください。

| | 名称 | 設定主体（例：大学、○○財 | 給付／貸与の別 | 支給対象 | 募集人数 | 選抜の有無 | 支給期間（例：大学院1～3年次（3年間）） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| No.1 | | | | | | | |
| No.2 | | | | | | | |
| No.3 | | | | | | | |

（続き）

| | 支給額　（例：200,000） | | 返還免除要件 | 開始年度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 月額 | 総支給額 | | | |
| No.1 | | | | | |
| No.2 | | | | | |
| No.3 | | | | | |

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## （２）研究医養成拠点として相応しい実績

①－１．継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

| （入学年度） | R3 | R4 | R5 | 直近3年間の平均 |
|---|---|---|---|---|
| 基礎・社会系大学院進学者数（【A】） | | | | #DIV/0! |
| 臨床系大学院進学者数（【B】） | | | | #DIV/0! |

| （博士課程修了年度） | R3 | R4 | R5 | 直近3年間の平均 |
|---|---|---|---|---|
| 【A】の修了者数（【C】） | | | | #DIV/0! |
| 【B】のうち、基礎・社会学系の論文（又は共著論文）を執筆した修了者数（【D】） | | | | #DIV/0! |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 |

①－2．その他、継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

②－１．継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

| （博士課程修了年度） | R2 | R3 | R4 | 直近3年間の平均 |
|---|---|---|---|---|
| 【C】【D】のうち、基礎・社会学研究分野の就職者数 | | | | #DIV/0! |
| 【C】【D】のうち、臨床系に就職したが基礎・社会学研究に従事する者等の数（※1） | | | | #DIV/0! |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 |

（※1）一度臨床系（基礎系以外）に進んだものの実態としては研究に従事している又は従事する見込みがある者の数。
（例：臨床医として働きながら研究活動を行っている者、常勤ポストではないが大学の身分を有し研究活動を行っている者、現在臨床医として勤務しているが将来的に研究に従事する意思を大学が確認している者）

②－2．その他、継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

③大学教育改革の支援に関する補助事業の採択実績等
※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

| 採択事業名 | 採択年度（○年度～○年 | 概要（1～3行程度） |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

④他大学と比較した際に研究医養成拠点として相応しいと考えられる客観的な実績（科学研究費採択率等）
※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

| 概要（1～3行程度） |
|---|
| |

## （３）過去に研究医枠による入学定員増を実施した場合の令和５年度における状況

①過去に入学定員増を実施した際に計画していた研究医養成に関する取組について、その有効性が高いことを確認している旨を、確認方法等とともにご記入ください。
（例：第三者による評価、学内委員会による評価）

| |
|---|
| |

大学別医学部入学定員一覧

| 大　学　名 | 属性（国公私） | R５年度定員 | 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和４年度の入学定員 | R６年度増員数 | R６年度定員（計画） |
|---|---|---|---|---|---|
| 鳥取大学 | 国立 | 105 | 80 | 25 | **105** |

| 大学名 | 令和５年度定員 | 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和６年度の入学定員 | 令和６年度増員計画 | | | | 令和６年度定員（計画） | 令和６年度増員計画<br>教育内容の概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 増員数 | 都道府県ごとの内訳 | | | |
| 鳥取大学 | 105 | 80 | 地域枠 | 25 | 鳥取県 | 18 | 105 | １年次に「基礎地域医療学」，3年次に「総合診療-症候学-」，「研究室配属」を行い，４年次には，「臨床地域医療学」「地域医療体験」，そして４年次～６年次に「臨床実習Ⅰ・Ⅱ」を学ぶなど，６年間を通じた地域医療教育プログラムを導入している。<br>なお，地域医療教育サテライト施設を含む地域の病院・診療所で，実習を行う機会を確保している。また，キャリア支援として，５年生，６年生の鳥取県地域枠の学生に対して，グループ別に鳥取県・地域医療支援センター（附属病院内に設置）と地域医療学講座が共同でグループ面談を行っている。<br>令和５年度も，引き続き地域医療教育プログラムを継続し，地域枠学生の教育等に万全を期す。 |
| | | | | | 兵庫県 | 2 | | |
| | | | | | 島根県 | 5 | | |
| | | | | | 0 | 0 | | |
| | | | | | 0 | 0 | | |
| | | | | | 0 | 0 | | |
| | | | 研究医枠 | 0 | | | | 0 |

令和５（２０２３）年度

# 入 学 者 選 抜 要 項

# 鳥 取 大 学

本選抜要項は，令和５（２０２３）年度鳥取大学入学者選抜に関する基本的な事項についてのみ記載したものです。詳細については，各選抜の学生募集要項でお知らせしますので出願に際しては，必ずご確認ください。なお，学生募集要項の冊子での配布は行いませんので，以下の公表時期以降にホームページからダウンロードしてください。

鳥取大学入学試験情報ホームページ　https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/

① 一 般 選 抜 ……１１月上旬頃
② 総 合 型 選 抜 ……７月中旬頃
③ 学校推薦型選抜Ⅰ，学校推薦型選抜Ⅱ（医学部），
社会人選抜（医学部保健学科）……９月上旬頃
④ 学校推薦型選抜Ⅱ（地域学部，工学部，農学部），
帰国生徒選抜，社会人選抜（地域学部，工学部，農学部），私費外国人
留学生選抜 ……１０月上旬頃

# 医　学　部

医学部は，医学科，生命科学科，保健学科がお互いに連携を取りながら，生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成します。

医学部は，山陰地方の歴史と伝統のある医学部として，21世紀にふさわしい医学，生命科学，保健学を修得し，これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行います。そして，限りない人間愛を涵養しながら，地域社会の課題を解決し，地域の発展に貢献するとともに，国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指します。

医学部の理念・教育目標を達成するため，各学科では次のような人を求めます。

## 医学科

医学部医学科では，高い倫理観と豊かな人間性を備え，地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成するために，次のような人を広く受け入れます。

1．医学に関心があり，目標に向かって継続的に努力できる人
2．医学を学ぶために必要な基礎学力・教養をもつ人
3．問題を解決するための柔軟な思考力及び豊かな表現力をもつ人
4．思いやり，責任感及び協調性のある健全な考え方をもつ人
5．医学・医療と保健・福祉の発展に貢献したいと考えている人
6．地域・国際医療に関心をもち，貢献したいと考えている人

これらの人を受け入れるため，入学者に求める能力やその評価方法を，知識・技能，思考力・判断力，表現力，主体性・協働性，多角的視野など様々な能力と関連付けて明示し，大学入学共通テストを利用する一般選抜及び学校推薦型選抜，社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

※各選抜方式・選抜方法と求める能力の関連

| 選抜方式 | 選抜方法 | 求める能力 | | | | | | 配点 | 備考（活用方法など） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 知識技能 | 思考力判断力 | 表現力 | 主体性協働性 | 向上心創造力探究心 | 多角的視野 | | |
| 学校推薦型選抜Ⅱ | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | | | | | 900 | 高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。 |
| | 個別試験（面接） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 100 | 調査書・推薦書は，面接の際の参考にする。 |
| 一般選抜（前期日程） | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | | | | | 900 | 高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。 |
| | 個別試験（教科） | ○ | ○ | ○ | | | | 600 | |
| | 個別試験（面接） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 100 | 自己評価シートと調査書は，面接の際の参考にする。 |

## 生命科学科

医学部生命科学科では，生命倫理を尊重するとともに，基礎医学と最先端の生命科学を修得し，医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を目指す，次のような人を広く受け入れます。

1．学修に必要な高等学校等までの理科（生物，物理，化学）の知識と基本的な語学力と国語力を備えた人
2．現代の医学・生命科学及びその関連分野の動向・進展に関心があり，それらの知識・技術を学ぶとともに向上・発展させる研究活動に興味を持つことができる人
3．真理探究の意欲を有し，創造的目標の達成にチャレンジでき，そして勉学・自己研鑽に労力をおしまない人
4．協調性を備え，生命科学を通して国際的な広い視野と仕事への使命感を持って人類に役立つ喜びを感じる人

これらの人を受け入れるため，入学者に求める能力やその評価方法を，知識・技能，思考力・判断力，表現力，主体性・協働性，創造性など様々な能力と関連付けて明示し，大学入学共通テストを利用する一般選抜及び学校推薦型選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

※各選抜方式・選抜方法と求める能力の関連

| 選抜方式 | 選抜方法 | 求める能力 | | | | | 配点 | 備考（活用方法など） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 知識技能 | 思考力判断力 | 表現力 | 主体性協働性 | 創造性 | | |
| 学校推薦型選抜Ⅱ | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | | | | 900 | 高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。 |
| | 個別試験（面接） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 200 | 「知識・技能」と「思考力・判断力」を中心に総合的な観点から，科学的知識，倫理観，科学者としての資質を5段階で評価する。調査書，推薦書は，面接の際の「主体性・協働性」ならびに「創造性」の評価の参考にする。 |
| | 調査書 | | | | ○ | ○ | | |
| 一般選抜（前期日程） | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | | | | 900 | 高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。 |
| | 個別試験（教科） | ○ | ○ | ○ | | | 900 | 個別試験（教科）では，主に「知識・技能」と「表現力」を3科目　各 300 点で評価する。 |
| | 自己評価シート<br>調査書 | | | | ○ | ○ | 20 | 自己評価シートと調査書を総合的に評価する。 |
| 一般選抜（後期日程） | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | | | | 900 | 高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。 |
| | 個別試験（面接） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 200 | 「知識・技能」と「思考力・判断力」を中心に総合的な観点から，科学的知識，倫理観，科学者としての資質を5段階で評価する。自己評価シート，調査書は，面接の際の「主体性・協働性」ならびに「創造性」の評価の参考にする。 |

## ３．募集人員

| 学部 | 学科等 | | 入学定員 | 募集人員 前期日程 | 後期日程 | 総合型選抜 | 学校推薦型選抜 Ⅰ | 学校推薦型選抜 Ⅱ | 帰国生徒 | 社会人 | 私費外国人留学生 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域学部 | 地域学科 | 地域創造コース | 人 60 | 人 34 | 人 10 | 人 10 | 人 6 | 人 | 若干人 | 若干人 | 若干人 |
| | | 人間形成コース | 55 | 38 | 13 | 4 | | | | | |
| | | 国際地域文化コース | 55 | 30 | 13 | 5 | | 7 | | | |
| | 計 | | 170 | 102 | 36 | 19 | 6 | 7 | | | |
| 医学部 | 医学科※ | | 105 ~~80~~ | 一般枠 58<br>地域枠 鳥取県枠 14 ~~2~~<br>兵庫県枠 2<br>島根県枠 5 | | | | 26 ~~20~~ | | | |
| | 生命科学科 | | 40 | 30 | 5 | | | 5 | | | |
| | 保健学科 | 看護学専攻 | 80 | 45 | 5 | | | 30 | | 若干人 | |
| | | 検査技術科学専攻 | 40 | 22 | 5 | | | 13 | | | |
| | 計 | | 265 | 176 | 15 | | | 74 | | | |
| 工学部 | 機械物理系学科 | | 115 | 74 | 37 | | 4 | | 若干人 | 若干人 | |
| | 電気情報系学科 | | 125 | 82 | 31 | | 5 | 7 | | | |
| | 化学バイオ系学科 | | 100 | 57 | 37 | | | 6 | | | |
| | 社会システム土木系学科 | | 110 | 81 | 18 | 2 | 4 | 5 | | | |
| | 計 | | 450 | 294 | 123 | 2 | 13 | 18 | | | |
| 農学部 | 生命環境農学科 | | 220 | 110 | 20 | 12 | 40 | 38 | 若干人 | 若干人 | |
| | 共同獣医学科 | | 35 | 30 | | | | 5 | | | |
| | 計 | | 255 | 140 | 20 | 12 | 40 | 43 | | | |
| 合計 | | | 1，140 | 712 | 194 | 33 | 59 | 142 | | | |

（注）
1．帰国生徒選抜及び社会人選抜の募集人員（若干人）は，それぞれの学科等の前期日程の募集人員に含みます。
2．鳥取県枠の募集人員14人の内2人は，臨時的に増員された定員ではないため，選抜結果によっては一般枠に振り替えることがあります。
3．医学部保健学科看護学専攻前期日程の募集人員（45人）のうち，10人以内は鳥取県看護職員養成枠として募集します。
4．医学部医学科学校推薦型選抜及び保健学科看護学専攻学校推薦型選抜には，地域枠推薦による募集人員を含みます。
5．総合型選抜，学校推薦型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱで合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般選抜の合格者で補充します。
6．学校推薦型選抜「Ⅰ」は，大学入学共通テストを課さないものであり，「Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものです。

※　医学部医学科では，前期日程で「地域枠（募集人員１９人（鳥取県枠１２人，兵庫県枠２人，島根県枠５人））」及び学校推薦型選抜Ⅱで緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員５人→６人に１名増員）」を継続申請中です。（上記の表は申請が認可された場合の募集人員を示しています。）
なお，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

## ４．入学者選抜方法等

**（一般選抜）**

| 学部・学科等名 ＼ 選抜方法等 | | | | ２段階選抜 | 個別学力検査等 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 個別学力検査 | 小論文 | 面接 |
| 地域学部 | 前期日程 | 地域学科 | 地域創造コース | － | － | ○ | － |
| | | | 人間形成コース | － | ○ | － | － |
| | | | 国際地域文化コース | － | ○ | － | － |
| | 後期日程 | 地域学科 | 地域創造コース | － | － | ○ | － |
| | | | 人間形成コース | － | ○ | － | － |
| | | | 国際地域文化コース | － | － | ○ | － |
| 医学部 | 前期日程 | 医学科 | | ○ | ○ | － | ○ |
| | | 生命科学科 | | － | ○ | － | － |
| | | 保健学科 | 看護学専攻 | － | ○ | － | － |
| | | | 検査技術科学専攻 | － | ○ | － | － |
| | 後期日程 | 生命科学科 | | － | － | － | ○ |
| | | 保健学科 | 看護学専攻 | － | － | ○ | ○ |
| | | | 検査技術科学専攻 | － | － | ○ | ○ |
| 工学部 | 前期日程 | 全学科 | | － | ○ | － | － |
| | 後期日程 | 全学科 | | － | ○ | － | － |
| 農学部 | 前期日程 | 生命環境農学科 | | － | ○ | － | － |
| | | 共同獣医学科 | | － | ○ | － | － |
| | 後期日程 | 生命環境農学科 | | － | － | － | ○ |

〔備考〕

１．**医学部医学科の前期日程において２段階選抜を実施します（詳細は２０頁）。その他の学部・学科では，２段階選抜を実施しません。**

２．欠員が生じた場合は，追加合格を行うほか，欠員補充第２次募集を実施することがあります。

医学部医学科では，前期日程で「地域枠（募集人員１９人（鳥取県枠１２人，兵庫県枠２人，島根県枠５人））」及び学校推薦型選抜Ⅱで緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員５人→６人に１名増員）」を継続申請中です。なお，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

**（総合型選抜，学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ，帰国生徒選抜，社会人選抜）**

| 学部・学科等名 ＼ 選抜方法等 | | | 総合型選抜 | 学校推薦型選抜Ⅰ | | | 学校推薦型選抜Ⅱ | | | 帰国生徒選抜 | 社会人選抜 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 大学入学共通テスト | 小論文 | 面接 | 大学入学共通テスト | 小論文 | 面接 | | |
| 地域学部 | 地域学科 | 地域創造コース | ○ | － | ○ | ○ | | | | ○ | ○ |
| | | 人間形成コース | | | | | | | | | |
| | | 国際地域文化コース | | | | | ○ | － | ○ | | |
| 医学部 | 医学科 | | | | | | ○ | － | ○ | | |
| | 生命科学科 | | | | | | ○ | － | ○ | | |
| | 保健学科 | 看護学専攻 | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| | | 検査技術科学専攻 | | | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 工学部 | 機械物理系学科 | | | － | － | ○ | | | | ○ | ○ |
| | 電気情報系学科 | | | － | － | ○ | ○ | － | ○ | | |
| | 化学バイオ系学科 | | | | | | ○ | － | ○ | | |
| | 社会システム土木系学科 | | ○ | － | － | ○ | ○ | － | ○ | | |
| 農学部 | 生命環境農学科 | | ○ | － | － | ○ | ○ | ○（注） | ○ | ○ | ○ |
| | 共同獣医学科 | | | | | | ○ | ○ | ○ | | |

〔備考〕
（注）･･･募集方法（B）：地域貢献型のみ実施します。

医学部医学科では，前期日程で「地域枠（募集人員１９人（鳥取県枠１２人，兵庫県枠２人，島根県枠５人））」及び学校推薦型選抜Ⅱで緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員５人→６人に１名増員）」を継続申請中です。なお，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

備　考

１．個別学力検査等に関する注意事項

①　「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」は全範囲を出題範囲とします。
②　「数学Ｂ」では「数列」，「ベクトル」の２分野を出題範囲とします。
③　「物理基礎・物理」は物理基礎，物理の全範囲を出題範囲とします。
④　「化学基礎・化学」は化学基礎，化学の全範囲を出題範囲とします。
⑤　「生物基礎・生物」は生物基礎，生物の全範囲を出題範囲とします。
⑥　「英語」は「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を併せて出題します。

出題範囲は以上のとおりです。

２．大学入学共通テスト及び個別学力検査の出題教科・科目名は，次のように略しています。

| 教　　科 | 科　　目　　名　　等 |
|---|---|
| 国語　→　国 | |
| 地理歴史・公　民 → 地歴・公民 | 「世界史Ａ」→「世Ａ」，「世界史Ｂ」→「世Ｂ」<br>「日本史Ａ」→「日Ａ」，「日本史Ｂ」→「日Ｂ」<br>「現代社会」→「現社」，「倫理」→「倫」，「政治・経済」→「政経」<br>「倫理，政治・経済」→「倫・政経」 |
| 数学　→　数 | 「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」，「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」，「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」，<br>「数学Ａ」→「数Ａ」，「数学Ｂ」→「数Ｂ」，<br>「数学Ⅰ・数学Ａ」→「数Ⅰ・数Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」→「数Ⅱ・数Ｂ」，<br>「簿記・会計」→「簿・会」，「情報関係基礎」→「情報」 |
| 理科　→　理 | |
| 外国語　→　外 | 「英語」→「英」，「ドイツ語」→「独」，「フランス語」→「仏」，<br>「中国語」→「中」，「韓国語」→「韓」 |

## ２）一般選抜合否判定方法

前期日程

| 学　部 | 学　科　等 | 合　否　判　定　方　法 |
|---|---|---|
| 地　域<br>学　部 | 地域学科地域創造コース | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |
| | 地域学科人間形成コース | |
| | 地域学科国際地域文化コース | |
| 医学部 | 医　学　科 | 大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が９００点満点中６００点以上の者を第１段階選抜の合格者とします。<br>・「一般枠」「地域枠」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，面接の得点の高い者，さらに同点の場合は，個別試験の合計点の高い者，さらに同点の場合は，大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし，さらに同点の場合は，調査書等により総合的に判断します。「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「地域枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。<br>・面接試験において医療人としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがあります。 |
| | 生　命　科　学　科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |
| | 保健学科看護学専攻 | ・「一般枠」「鳥取県看護職員養成枠」の２つの区分に関わらず大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は同順位とします。<br>・「一般枠と鳥取県看護職員養成枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「鳥取県看護職員養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」としての選抜の対象となります。 |
| | 保健学科検査技術科学専攻 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |
| 工学部 | 機械物理系学科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |
| | 電気情報系学科 | |
| | 化学バイオ系学科 | |
| | 社会システム土木系学科 | |
| 農学部 | 生命環境農学科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |
| | 共同獣医学科 | |

後期日程

| 学　部 | 学　科　等 | 合　否　判　定　方　法 |
|---|---|---|
| 地　域<br>学　部 | 地域学科地域創造コース | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |
| | 地域学科人間形成コース | |
| | 地域学科国際地域文化コース | |
| 医学部 | 生　命　科　学　科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |
| | 保健学科看護学専攻 | |
| | 保健学科検査技術科学専攻 | |
| 工学部 | 機械物理系学科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |
| | 電気情報系学科 | |
| | 化学バイオ系学科 | |
| | 社会システム土木系学科 | |
| 農学部 | 生命環境農学科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |

## 学校推薦型選抜Ⅱ

| | |
|---|---|
| 実施学部・学科等名 | 医　学　部 |
| | 医　学　科 |
| 募　集　人　員 | 一般枠　１５人 |
| | 地域枠　５人<br>「特別養成枠（募集人員６人）」を申請中 |
| 出　願　要　件 | 一般枠<br>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和５年３月卒業見込みの者（令和４年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和５年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，令和５年度大学入学共通テストを受験する者で，次の各号に該当し，人物が優秀で，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者<br>（１）医学に興味を持ち，人物が優秀で，高等学校等の学習成績概評がＡ段階に属する者<br>ただし，推薦できる者は，１高等学校等につき８人以内とする。（注）<br>（２）合格した場合は，入学することを確約できる者 |
| | 地域枠<br>鳥取県内の高等学校を令和３年３月及び令和４年３月に卒業した者（令和２年４月から令和４年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和５年３月卒業見込みの者（令和４年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，かつ，令和５年度大学入学共通テストを受験する者で，次の各号に該当し，人物が優秀で，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち，高等学校長が責任をもって推薦できる者<br>（１）医学に興味を持ち，人物・学力が優秀な者<br>（２）合格した場合は，入学することを確約できる者<br>（３）推薦できる人数<br>卒業見込者：１高等学校につき８人以内（注）<br>既卒者：推薦人数の制限はない<br>（４）入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者<br>※　出願後に出願区分を変更することはできませんので，鳥取県の奨学金制度を十分理解のうえ出願してください。奨学金制度の詳細については，学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項及び鳥取県のホームページで必ず確認をしてください。 |
| | 特別養成枠（申請中）<br>鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」（※）の決定を受けている者で，高等学校を令和３年３月及び令和４年３月に卒業した者（令和２年４月から令和４年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）並びに令和５年３月卒業見込みの者（令和４年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，かつ，令和５年度大学入学共通テストを受験する者で，次の各号に該当し，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち，高等学校長が責任をもって推薦できる者<br>（１）医学に興味を持ち，人物・学力が優秀な者<br>（２）合格した場合は，入学することを確約できる者<br>（３）推薦できる人数<br>卒業見込者：１高等学校につき８人以内（注）<br>既卒者：推薦人数の制限はない<br>（４）入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者<br>※　「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」については，鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課医療人材確保室（TEL（0857）26-7195）までお問い合わせください。 |

**（注）一般枠，地域枠，特別養成枠の人数の合計。**

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員６人）」を継続申請中です。
なお，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

<table>
<tr><td>選抜方法等</td><td>
入学者の選抜は，大学入学共通テストの成績及び面接（調査書及び推薦書は，面接の際の参考にする。）の結果により総合判定します。

<table>
<tr><th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th></tr>
<tr><th>教　科</th><th>科　目　名　等</th></tr>
<tr><td>国</td><td>国語（必須）</td></tr>
<tr><td>地歴・公民</td><td>世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ，倫・政経 から１</td></tr>
<tr><td>数</td><td>数Ⅰ・数Ａ（必須）<br>数Ⅱ・数Ｂ（必須）</td></tr>
<tr><td>理</td><td>物理，化学，生物から２</td></tr>
<tr><td>外</td><td>英，独，仏から１<br>〔５教科７科目〕</td></tr>
</table>

（注）地理歴史・公民で２科目受験した場合は，第１解答科目の成績を用います。（指定する科目を第１解答科目で受験していない場合，出願資格がありません。）

<table>
<tr><th rowspan="2">試験の区　分</th><th colspan="7">大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>国語</th><th>地歴・公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>面接</th><th>計</th></tr>
<tr><td>大学入学共通テスト</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td>900</td><td rowspan="2">1,000</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>

（注）**大学入学共通テストの「英語」の得点**は，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）をリーディング（160 点満点）とリスニング（40 点満点）に換算し，換算後の合計得点を「英語」の得点とします。
なお，リスニングを免除された者は，リーディング（100 点満点）を 200 点満点に換算したものを「英語」の得点とします。
</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td>令和４年１１月２日（水）～１１月８日（火）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td>令和４年１２月３日（土）</td></tr>
<tr><td>合否判定方法</td><td>
「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で，大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，面接の得点の高い者を上位とし，さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とします。

・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。
・「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「特別養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「地域枠」として選抜の対象となります。
・「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「特別養成枠」を優先して選抜し，「特別養成枠」の合格者とならなかった場合，「地域枠」として選抜の対象となり，「地域枠」の合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。
・なお，面接試験において医療人としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがあります。
</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td>令和５年２月１０日（金）</td></tr>
</table>

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員６人）」を継続申請中です。
なお，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

## 学校推薦型選抜Ⅱ

<table>
<tr><td>そ　の　他</td><td>

・　高等学校の卒業年月と出願区分については，以下のとおりです。（特別養成枠は申請中）

| 出願区分<br>卒業年月 | 一般枠 | 地域枠<br>（鳥取県内の高等学校に限る） | 特　別<br>養成枠 |
|---|---|---|---|
| 令和４年４月～令和５年３月（卒業見込み） | ○ | ○ | ○ |
| 令和３年４月～令和４年３月 | × | ○ | ○ |
| 令和２年４月～令和３年３月 | × | ○ | ○ |

※特別養成枠が認められた場合

・　鳥取県には，学校推薦型選抜Ⅱ地域枠及び特別養成枠入学者を対象とした奨学金制度が設けられています。出願にあたっては，奨学金制度を十分理解のうえ出願してください。奨学金については鳥取県のホームページ等で確認をしてください。

・　卒業見込者は「一般枠，地域枠，特別養成枠」の最大３区分まで併願が可能です。

・　既卒者は「地域枠と特別養成枠」の併願が可能です。

・　出願後に出願区分を変更することはできません。

</td></tr>
</table>

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員６人）」を継続申請中です。
なお，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

**令和４年１０月２８日変更版**

※学校推薦型選抜Ⅱ医学部医学科について、特別養成枠の増員（募集人員６人）が認可されたことに伴い，内容を一部変更しています。（変更箇所は赤字）

## 令和５（２０２３）年度

# 学校推薦型選抜Ⅱ　学生募集要項

〔大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜〕

**１１月出願開始分**
**（対象：医学部）**

| | |
|---|---|
| 出願期間 | 令和４年１１月　２日（水）～８日（火） |
| 試験日 | 令和４年１２月　３日（土） |
| 合格発表 | 令和５年　２月１０日（金） |
| 入学手続期限 | 令和５年　２月１７日（金） |

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては，今後，選抜方法や選抜期日等を変更する場合があります。その場合，対応をホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

**鳥取大学**

## 2. 募 集 人 員

| 学　科　等 | | 募　集　人　員 | |
|---|---|---|---|
| 医　学　科 | | 一般枠 | １５人 |
| | | 地域枠 | ５人 |
| | | 特別養成枠 | ６人 |
| 生　命　科　学　科 | | ５人 | |
| 保健学科 | 看　護　学　専　攻 | ３０人（地域枠１０人以内を含む） | |
| | 検査技術科学専攻 | １３人 | |
| 計 | | ７４人 | |

（注）合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般選抜の合格者で補充します。
　　ただし，医学科の「地域枠」合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は「一般枠」の募集人員に加えます。

## 3. 出 願 要 件

### 【医学科】

令和５年度大学入学共通テストを受験する者で，次の要件に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は入学することを確約できる者

| 出　願　要　件 | |
|---|---|
| 一般枠 | 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和５年３月卒業見込みの者（令和４年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和５年３月31日までに満18歳に達する者で，医学に興味を持ち，人物が優秀で，高等学校等の学習成績概評がＡ段階に属する者<br>【推薦できる人数は，１高等学校等につき８人以内とする】（注） |
| 地域枠 | 鳥取県内の高等学校を令和３年３月及び令和４年３月に卒業した者（令和２年４月から令和４年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和５年３月卒業見込みの者（令和４年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，医学に興味を持ち，人物・学力が優秀で，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持つ者で，入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者<br>この地域枠については，鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨をよく理解したうえで，出願してください。（入学後，鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）<br>【推薦できる人数】<br>（内訳）<br>卒業見込者：１高等学校等につき８人以内（注）<br>既卒者：推薦人数の制限はない |

| | |
|---|---|
| 特別養成枠 | 鳥取県に「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」の申請をしている者で，高等学校を令和３年３月及び令和４年３月に卒業した者（令和２年４月から令和４年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）並びに令和５年３月卒業見込みの者（令和４年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，かつ，令和５年度大学入学共通テストを受験する者で，次の各号に該当し，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち，高等学校長が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は入学することを確約できる者。<br>（1）医学に興味を持ち，人物・学力が優秀な者<br>（2）合格した場合は入学することを確約できる者<br>（3）入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者<br>【推薦できる人数】<br>（内訳）<br>卒業見込者：１高等学校につき８人以内（注）<br>既卒者：推薦人数の制限はない |
| （注）1 高等学校等につき卒業見込者の推薦できる人数は，一般枠，地域枠，特別養成枠の人数の合計。 | |

**○医学科の「地域枠」及び「特別養成枠」等の出願について**

・高等学校の卒業年月と出願区分については，以下のとおりです。

| 出願区分<br>卒業年月 | 一般枠 | 地域枠<br>（鳥取県内の高等学校に限る） | 特別養成枠 |
|---|---|---|---|
| 令和 4 年４月～令和 5 年３月<br>（卒業見込者） | ○ | ○ | ○ |
| 令和 2 年４月～令和 4 年３月<br>（既卒者） | × | ○ | ○ |

・　卒業見込者は，「一般枠」，「地域枠」，「特別養成枠」，「一般枠と地域枠」，「一般枠と特別養成枠」，「地域枠と特別養成枠」「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願できます。
　既卒者は，「地域枠」，「特別養成枠」，「地域枠と特別養成枠」の区分で出願できます。

・　出願後に出願区分を変更することはできませんので，鳥取県の奨学金制度を十分理解のうえ出願してください。

・　「一般枠と地域枠（併願）」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「地域枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。（詳細は P.21 参照）

・医学科地域枠奨学金制度

| | |
|---|---|
| 奨学金の額 | 12 万円/月（年額 144 万円） |
| 貸付期間 | 6 年間 |
| 返還免除の条件 | ①卒業から２年以内に医師免許を取得<br>②臨床研修期間を含め１１年以内に知事の指定する鳥取県内医療機関に６年間勤務 |
| 勤務先 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所，公的病院，鳥取大学医学部附属病院（小児科・産科・救急科・精神科の場合，がん薬物療法専門医，放射線治療専門医又は感染症専門医を取得するための業務又は専門医としての業務に従事する場合は３年を，その他の診療科の場合は１年を上限とする），救急告示病院（鳥取大学医学部附属病院を除く），精神科救急医療施設等 |
| 診療科 | 限定しない |
| 初期研修 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加）<br>◆この期間は返還免除に係る年数として算定 |

・医学科特別養成枠奨学金制度

| | |
|---|---|
| 奨学金の額 | 15 万円/月（年額 180 万円） |
| 貸付期間 | 6 年間 |
| 返還免除の条件 | ①卒業から２年以内に医師免許を取得<br>②医師免許取得後知事の指定する鳥取県内医療機関に９年間勤務（臨床研修期間を含む） |
| 勤務先 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所，公的病院（鳥取大学医学部附属病院，国関係機関を除くが，初期研修・後期研修の場合にあってはその限りではない。） |
| 診療科 | 派遣先の病院からの要望状況により診療科が限定される場合あり。<br>※現在のところ「内科，産科，小児科（脳神経小児科を含む），精神科，救急科」への派遣を想定。 |
| 初期研修 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加）<br>◆この期間は返還免除に係る年数として算定 |

その他，地域枠奨学金制度の詳細については，鳥取県のホームページ等で確認をしてください。

〇鳥取県ホームページ

https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171361

〇奨学金に関する問い合わせ

鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課

電話：0857-26-7195　E-mail：ishikakuho@pref.tottori.lg.jp

## 【生命科学科】

令和５年度大学入学共通テストを受験する者で，次の要件に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は入学することを確約できる者

| 出　願　要　件 |
|---|
| 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和５年３月卒業見込みの者（令和４年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）及び令和４年３月に卒業した者（令和３年４月から令和４年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和５年３月 31 日までに満 18 歳に達する者で，生命科学に興味を持ち，人物・学力が優秀な者 |

## 11.　合否判定方法

| 学　部 | 学　科　等 | 合　否　判　定　方　法 |
|---|---|---|
| 医学部 | 医学科 | 「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で，大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，面接の得点の高い者を上位とし，さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とします。<br>・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。<br>・「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「特別養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「地域枠」として選抜の対象となります。<br>・「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「特別養成枠」を優先して選抜し，「特別養成枠」の合格者とならなかった場合，「地域枠」として選抜の対象となり，「地域枠」の合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。<br>・「特別養成枠」について，鳥取県緊急医師確保対策奨学金予約奨学生申請の結果，予約奨学生に決定されなかった者は，「特別養成枠」の合格者にはなりません。<br>・なお，面接試験において医療人としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがあります。 |
| | 生命科学科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。<br>なお，大学入学共通テストの数学・理科・外国語の合計が概ね７０％に満たない場合は，合格者となりえないことがあります。 |
| | 保健学科<br>看護学専攻 | 「一般枠」「地域枠」の２つの区分に関わらず，大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。<br>・「一般枠と地域枠（併願）」の区分で出願した場合の合否判定方法は，「地域枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。 |
| | 保健学科<br>検査技術科学専攻 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。 |

## 12.　合 格 発 表

**合格発表日時：令和５年２月10日（金）　午前10時頃**

合格者に「合格通知書」を送付するとともに，鳥取大学ホームページ(https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/)に合格者の受験番号を掲載します。（午前10時頃の予定。掲示による合格発表は行わないので，注意してください。）

合格通知書は，出願時に登録した住所へ送付するため，住所変更等をした場合は，直ちに鳥取大学ホームページ問い合わせフォーム（https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/contact-dept）から，変更内容を連絡してください。

また，合否の結果を高等学校等の長へ文書で通知します。なお，電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

試験当日又は前日に，大学周辺や主要駅前において「合否至急電話連絡」などの勧誘を行う者がいますが，本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。

令和５（２０２３）年度

# 学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜（前期日程・後期日程）

## 鳥 取 大 学

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては，今後，選抜方法や選抜期日等を変更する場合があります。その場合，対応をホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

# 第2　募 集 人 員

| 学部 | 学科等 | | 入学定員 | 募集人員 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 前期日程 | 後期日程 | 総合型選抜 | 学校推薦型選抜 Ⅰ | 学校推薦型選抜 Ⅱ | 帰国生徒 | 社会人 | 私費外国人留学生 |
| 地域学部 | 地域学科 | 地域創造コース | 60人 | 34人 | 10人 | 10人 | 6人 | 人 | 若干人 | 若干人 | 若干人 |
| | | 人間形成コース | 55 | 38 | 13 | 4 | | | | | |
| | | 国際地域文化コース | 55 | 30 | 13 | 5 | | 7 | | | |
| | 計 | | 170 | 102 | 36 | 19 | 6 | 7 | | | |
| 医学部 | 医学科 | | 105 | 一般枠 58<br>地域枠 鳥取県枠 14<br>地域枠 兵庫県枠 2<br>地域枠 島根県枠 5 | | | | 26 | | | |
| | 生命科学科 | | 40 | 30 | 5 | | | 5 | | | |
| | 保健学科 | 看護学専攻 | 80 | 45 | 5 | | | 30 | | 若干人 | |
| | | 検査技術科学専攻 | 40 | 22 | 5 | | | 13 | | | |
| | 計 | | 265 | 176 | 15 | | | 74 | | | |
| 工学部 | 機械物理系学科 | | 115 | 74 | 37 | | 4 | | 若干人 | 若干人 | |
| | 電気情報系学科 | | 125 | 82 | 31 | | 5 | 7 | | | |
| | 化学バイオ系学科 | | 100 | 57 | 37 | | | 6 | | | |
| | 社会システム土木系学科 | | 110 | 81 | 18 | 2 | 4 | 5 | | | |
| | 計 | | 450 | 294 | 123 | 2 | 13 | 18 | | | |
| 農学部 | 生命環境農学科 | | 220 | 110 | 20 | 12 | 40 | 38 | 若干人 | 若干人 | |
| | 共同獣医学科 | | 35 | 30 | | | | 5 | | | |
| | 計 | | 255 | 140 | 20 | 12 | 40 | 43 | | | |
| 合計 | | | 1,140 | 712 | 194 | 33 | 59 | 141 | | | |

（注）１．帰国生徒選抜及び社会人選抜の募集人員（若干人）は，それぞれの学科等の前期日程の募集人員に含みます。
２．医学部医学科前期日程の地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）の募集人員は，地域の医師確保のための臨時的な増員分であり，一般枠とは別枠で選抜します。（合否判定方法については P.50 参照）
ただし，鳥取県枠の募集人員１４人のうち２人は，臨時的に増員された定員ではないため，選抜結果によっては一般枠に振り替えることがあります。
３．医学部保健学科看護学専攻前期日程の募集人員（４５人）のうち，１０人以内は鳥取県看護職員養成枠として募集します。
４．医学部医学科学校推薦型選抜には，地域枠推薦及び特別養成枠推薦による募集人員を，医学部保健学科看護学専攻学校推薦型選抜には，地域枠推薦による募集人員を含みます。
５．総合型選抜，学校推薦型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱで合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般選抜の合格者で補充します。
６．学校推薦型選抜「Ⅰ」は，大学入学共通テストを課さないものであり，「Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものです。

# 第３　出 願 資 格

次のいずれかに該当し，かつ，令和５年度大学入学共通テスト（受験科目については，P.16～19 の各学部・学科等の指定する教科・科目を参照）を受験した者

１．高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和５年３月卒業見込みの者

２．通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和５年３月修了見込みの者

３．学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条及び第 154 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和５年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者

（注）上記３の学校教育法施行規則第 150 条第７号の規定により出願する場合は，出身教育施設での学習内容及び当該教育施設の教育課程について，個別の入学資格審査を行う必要がありますので，事前に申請方法を問い合わせ願います。

（申請期間等は，P.43 の「第８　本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項」を参照してください。）

## ●一般選抜（前期日程）で医学部医学科「地域枠」に出願する場合

一般選抜（前期日程）で医学部医学科「地域枠」に出願する場合は，上記の出願資格に加え，志望する県（鳥取県，兵庫県，島根県）が示した出願要件等を満たす必要があります。各県の令和５年度の奨学金制度の趣旨及び確約書（鳥取県・島根県），県養成医師同意書（兵庫県）の内容を十分に理解のうえ出願してください。出願後に出願区分を変更することはできません。

なお，奨学金制度については，必ず当該県のホームページ等で確認してください。

１．各県共通出願要件

入学後，県の奨学金を必ず受給し，かつ卒業後は当該県内の医療に従事する強い意志がある者

２．県別の出願要件（卒業年度・出身地等）

| | 卒　業　年　度 | 出　身　地　等 |
|---|---|---|
| ① 鳥取県枠 | 卒業年度を問わない。 | 出身地，出身高等学校は県内外を問わない。 |
| ② 兵庫県枠 | 卒業年度を問わない。 | 出身高等学校が兵庫県内に所在すること又 は出願時において本人又は保護者が兵庫県 に居住していること。 |
| ③ 島根県枠 | 卒業年度を問わない。 | 出身地，出身高等学校は県内外を問わないが，卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し，地域医療に貢献する強い使命感を有していること。 |

３．県別の奨学金制度

・医学科鳥取県枠奨学金制度

| | |
|---|---|
| 名称 | 臨時特例医師確保対策奨学金（臨時養成枠） |
| 奨学金の額 | 15 万円/月（年額 180 万円） |
| 貸付期間 | 6 年間 |
| 返還免除の条件 | ①　卒業から 2 年以内に医師免許を取得<br>②　鳥取県の定めるキャリア形成プログラムに沿って，医師免許取得後，直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修を受け，当該臨床研修開始後，12 年以内に 9 年（そのうち鳥取県知事が指定した区域内において 4 年（臨床研修期間を除く））以上，鳥取県内の指定病院等において医師の業務に従事したとき。 |
| 勤務先 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所，公的病院，鳥取大学医学部附属病院，救急告示病院，精神科救急医療施設等（4 年間（臨床研修期間を除く）は鳥取県知事が指定した区域で勤務） |
| 診療科 | 限定しない |
| 初期研修 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加）<br>◆この期間は返還免除に係る年数として算定 |
| ホームページ・問い合わせ先 | 奨学金制度の詳細については，鳥取県のホームページ等で確認をしてください。<br>〇鳥取県ホームページ<br>https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171361<br>〇鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課<br>TEL：0857-26-7195　E-mail：ishikakuho@pref.tottori.lg.jp |

・医学科兵庫県枠奨学金制度

| | |
|---|---|
| 名称 | 兵庫県地域医療支援医師修学資金 |
| 奨学金の額 | 入学料（1 年次のみ）・授業料等に相当する額 |
| 貸付期間 | 6 年間 |
| 返還免除の条件 | ①　大学入学時から卒業まで、兵庫県が定める「キャリア形成卒前支援プラン」に参加すること<br>②　卒業から 2 年以内に医師免許を取得<br>③　その後 9 年間を兵庫県職員（医師）として，兵庫県が定める「県養成医師キャリア形成プログラム」に沿って知事が指定する医療機関等に勤務 |
| 勤務先 | 兵庫県内のへき地等の市町立医療機関等 |
| 診療科 | 募集時には限定しない。兵庫県内で必要とされる分野については，入学後情報提供を行う（総合診療，内科，産科，小児科，救急科など） |
| 初期研修 | ◆研修先は兵庫県が決定<br>◆この期間は返還免除に係る年数として算定 |
| ホームページ・問い合わせ先 | 奨学金制度の詳細については，兵庫県のホームページ等で確認をしてください。<br>〇兵庫県ホームページ<br>https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf15/ishisyugakushikin.html<br>〇奨学金に関する問い合わせ<br>兵庫県健康医療部医務課医療人材確保班<br>TEL：078-341-7711（内線 3230）　E-mail：imu@pref.hyogo.lg.jp |

・医学科島根県枠奨学金制度

| | |
|---|---|
| 名称 | 医学生地域医療奨学金 |
| 奨学金の額 | 修学費（100,000 円/月），授業料相当額（535,800 円/年）及び<br>入学料相当額（282,000 円/入学時） |
| 貸付期間 | 大学の課程を修了する月まで。ただし，6 年を超えることはできない。 |
| 返還免除の条件 | ①　大学の課程を修了した日から 2 年以内に医師免許を取得<br>②　医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から，12 年を経過する日までの間に，島根県内の指定医療機関において臨床研修を受け，かつ，その期間を含めて 9 年間，島根県内の指定医療機関（うち 4 年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事したとき。 |
| 勤務先 | 島根県内の指定医療機関に勤務（4 年間は特定地域医療機関（松江市・出雲市以外の指定医療機関）に勤務） |
| 診療科 | 限定しない |
| 初期研修 | ◆島根県内病院に限定（マッチング参加）<br>◆この期間は返還免除に係る年数として算定 |
| その他 | ①　円滑な県内勤務とキャリア形成との両立をサポートする「一般社団法人しまね地域医療支援センター」に登録していただきます。<br>（しまね地域医療支援センター　https://www.allshimane.jp/）<br>②　鳥取大学医学部医学科島根県枠の入学者は，円滑な地域勤務と能力の開発・向上が両立できるよう，島根県と一般社団法人しまね地域医療支援センターが策定する「島根県地域勤務医師（地域枠・奨学金貸与医師等）キャリア形成プログラム」に，卒業後，必ず参加していただきます。<br>（キャリア形成プログラム　https://www.allshimane.jp/program/）<br>③　鳥取大学医学部医学科島根県枠の入学者は、学生の期間を通じて地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、地域医療に貢献するキャリアを描けるよう島根県が大学の協力を得て策定する「キャリア形成卒前支援プラン」に、在学中、参加していただきます。<br>（キャリア形成卒前支援プラン　https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/career-formation-pre-graduation-support-plan.html） |
| ホームページ・問い合わせ先 | 奨学金制度の詳細については，島根県のホームページ等で確認をしてください。<br>〇島根県ホームページ<br>https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html<br>〇奨学金に関する問い合わせ<br>島根県健康福祉部医療政策課医師確保対策室<br>TEL：0852-22-6684　E-mail：iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp |

## ●一般選抜（前期日程）で医学部保健学科看護学専攻「鳥取県看護職員養成枠」に出願する場合

一般選抜（前期日程）で医学部保健学科看護学専攻「鳥取県看護職員養成枠」に出願する場合は，P.12 上段の出願資格に加え，鳥取県が示した下記の出願要件を満たす必要があります。奨学金制度の趣旨を十分に理解のうえ出願してください。出願後に出願区分を変更することはできません。

なお，奨学金制度の詳細については，必ず鳥取県のホームページ等で確認してください。

【出願要件】入学後，鳥取県の奨学金を必ず受給し，かつ，卒業後は鳥取県内において看護職員（看護師・助産師・保健師）又は看護教員として，その業務に従事しようとする者

・保健学科看護学専攻鳥取県看護職員養成枠奨学金制度

| | |
|---|---|
| 奨学金の額 | 6 万円/月（年額 72 万円） |
| 貸付期間 | 4 年間 |
| 返還免除の条件 | ①　卒業から 2 年以内に看護師免許を取得<br>②　県内の医療機関で常勤の看護職員（保健師，助産師，看護師）又は看護教員として引き続き 6 年間就業したとき。<br>・半額免除：200 床以上の病院（精神病床 80%以上の病院，医療型障害児入所施設を除く。）<br>・全額免除：上記以外の県内の施設 |

# 【医　学　部（前期日程）】

## (1) 志 望 方 法

志望は，一つの学科・専攻に限ります。

医学科では，「一般枠（専願）」，「一般枠と鳥取県枠（併願）」，「一般枠と兵庫県枠（併願）」，「一般枠と島根県枠（併願）」，「鳥取県枠（専願）」，「兵庫県枠（専願）」及び「島根県枠（専願）」のいずれかの区分で出願できます。

保健学科看護学専攻では，「一般枠（専願）」，「鳥取県看護職員養成枠（専願）」及び「一般枠と鳥取県看護職員養成枠（併願）」のいずれかの区分で出願できます。

医学科「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」及び保健学科看護学専攻「鳥取県看護職員養成枠」の合格者は入学手続完了後，必ず県の奨学金の受給手続をしていただくことになります。奨学金制度については，必ず当該県のホームページ等で確認してください。

出願後に出願区分を変更することはできませんので，各県の令和４年度の奨学金制度の趣旨及び確約書（医学科鳥取県枠・島根県枠），県養成医師同意書（医学科兵庫県枠）の内容を十分に理解のうえ出願してください。

## (2) 試 験 方 法

大学入学共通テストの成績，個別学力検査等の成績及び調査書等の結果を総合して判定します。

選抜方法と求める能力の関連については，P.4～6 を参照してください。

なお，医学科においては，大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が 900 点満点中 600 点以上の者を第１段階選抜の合格者とし，その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

医学科の面接試験においては，医療人としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがあります。

医学科の「一般枠」と「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」を併願する者の合否判定は，「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」を優先して行います。「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」で合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。

保健学科看護学専攻の「一般枠」と「鳥取県看護職員養成枠」を併願する者の合否判定は，「鳥取県看護職員養成枠」を優先して行います。「鳥取県看護職員養成枠」で合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。

① 個別学力検査等

| 学科・専攻 | | 教科・科目等 | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 医学科 | | 数学 | 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ | |
| | | 理科 | 物理基礎・物理<br>化学基礎・化学<br>生物基礎・生物<br>から２ | |
| | | 外国語 | 英語 | |
| | | 面接 | ※ | |
| 生命科学科 | | 数学 | 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ | |
| | | 理科 | 物理基礎・物理<br>化学基礎・化学<br>生物基礎・生物<br>から２ | |
| | | 外国語 | 英語 | |
| 保健学科 | 看護学専攻 | 外国語 | 英語 | |
| | 検査技術科学専攻 | 数学 | 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ | 数学及び外国語の２教科から１教科を選択 |
| | | 外国語 | 英語 | |

（注）１．数学Ｂでは「数列」，「ベクトル」の２分野を出題範囲とします。
２．英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を併せて出題します。

３．医学科及び生命科学科の理科の受験科目については，インターネット出願登録時に「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」から２科目を選択してください。なお，試験当日に変更することはできません。

４．**保健学科検査技術科学専攻の数学及び外国語は，インターネット出願登録時に２教科または１教科を選択してください。**なお，両教科を受験した場合は，高得点の教科の成績を用います。また，試験当日に受験する教科を変更することが可能です。

※　医学科の「地域枠」のうち「兵庫県枠」に出願した者は，本学の面接試験のほか，兵庫県の行う面接が令和５年２月27日（月）にあります。
面接会場等詳細については，第１段階選抜結果通知書送付時にご案内します。（第１段階選抜合格者のみ）

●面接の内容

| 学　　科 | 試験科目等 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 医　学　科 | 面　接 | 個人面接によって，社会常識，問題意識，医学を志す動機などについて質問し，その対応などを通じて，医師となるのにふさわしい資質，思考の柔軟性，発言の論理性等を総合的に評価します。 |

②　大学入学共通テストと個別学力検査等の配点

| 学科・専攻 | | 試験の区分 | 教科等 | | | | | | | | 総計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 国語 | 地歴･公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 面接 | 自己評価シート調査書 | 計 | | |
| 医学科 | | 大学入学共通テスト | 200 | 100 | 200 | 200 | 200 | | | 900 | 1,600 | |
| | | 個別学力検査等 | | | 200 | 200 | 200 | 100 | | 700 | | |
| 生命科学科 | | 大学入学共通テスト | 200 | 100 | 200 | 200 | 200 | | | 900 | 1,820 | |
| | | 個別学力検査等 | | | 300 | 300 | 300 | | | 900 | | |
| | | 書類審査 | | | | | | | 20 | 20 | | |
| 保健学科 | 看護学専攻 | 大学入学共通テスト | 200 | 100 | 100 | 100 | 200 | | | 700 | 910 | |
| | | 個別学力検査等 | | | | | 200 | | | 200 | | |
| | | 書類審査 | | | | | | | 10 | 10 | | |
| | 検査技術科学専攻 | 大学入学共通テスト | 100 | 100 | 200 | 200 | 200 | | | 800 | 1,010 | |
| | | 個別学力検査等 | | | *200 | | *200 | | | 200 | | |
| | | 書類審査 | | | | | | | 10 | 10 | | |

（注）１．配点欄の＊印は選択科目を示します。
２．大学入学共通テストの「英語」の得点は，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）をリーディング（160点満点）とリスニング（40点満点）に換算し，換算後の合計得点を「英語」の得点とします。
（リスニングを免除された者は，リーディング（100点満点）を200点満点に換算したものを「英語」の得点とします。）

## 5　前期日程合否判定方法

<table>
<tr><th>学　　部</th><th>学　科　等</th><th>合　否　判　定　方　法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">地　　域<br>学　　部</td><td>地域学科地域創造コース</td><td rowspan="3">大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。</td></tr>
<tr><td>地域学科人間形成コース</td></tr>
<tr><td>地域学科国際地域文化コース</td></tr>
<tr><td rowspan="4">医 学 部</td><td>医学科</td><td>・大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が９００点満点中６００点以上の者を第１段階選抜の合格者とします。<br>・「一般枠」「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，面接の得点の高い者，さらに同点の場合は，個別試験の合計点の高い者，さらに同点の場合は，大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし，さらに同点の場合は，調査書等により総合的に判断します。「一般枠」と「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」を併願した場合の合否判定方法は，「地域枠（鳥取県枠，兵庫県枠，島根県枠）」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。<br>・面接試験において医療人としての適性を評価し，不適格と判定した場合は，不合格とすることがあります。</td></tr>
<tr><td>生命科学科</td><td>大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。</td></tr>
<tr><td>保健学科看護学専攻</td><td>・「一般枠」「鳥取県看護職員養成枠」の２つの区分に関わらず大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は同順位とします。<br>・「一般枠」と「鳥取県看護職員養成枠」を併願した場合の合否判定方法は，「鳥取県看護職員養成枠」を優先して選抜し，合格者とならなかった場合，「一般枠」としての選抜の対象となります。</td></tr>
<tr><td>保健学科検査技術科学専攻</td><td>大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">工 学 部</td><td>機械物理系学科</td><td rowspan="4">大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。</td></tr>
<tr><td>電気情報系学科</td></tr>
<tr><td>化学バイオ系学科</td></tr>
<tr><td>社会システム土木系学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">農 学 部</td><td>生命環境農学科</td><td rowspan="2">大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし，合否を判定します。同点の場合は，同順位とします。</td></tr>
<tr><td>共同獣医学科</td></tr>
</table>

# 鳥取大学医学部医学科地域枠に関する資料（2023年6月現在）

地域医療に貢献する意志があることが条件です！

鳥取大学 Tottori University 2023

| 入試区分 | 地域枠の名称 | 県別 | 出願要件 | | | | 奨学金貸付の条件 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 定員 | 卒業年次 | 出身地等 | その他 | 奨学金の額 | 貸付期間 | 返還免除の条件 |
| 学校推薦型選抜Ⅱ | 地域枠 | 鳥取県 | ５人以内 | ①卒業見込み者<br>②既卒者も出願可能<br>（前々年度卒業者（２浪まで）） | 鳥取県内高校卒業（見込）者 | なし | 12万円/月<br>（年額144万円） | ６年間 | ①卒業から２年以内に医師免許を取得<br>②その後鳥取県内病院での臨床研修期間を含め１１年以内に知事の指定する鳥取県内医療機関に６年間勤務 |
| | 特別養成枠 | 鳥取県 | ６人 | ①卒業見込み者<br>②既卒者も出願可能<br>（前々年度卒業者（２浪まで）） | 鳥取県内高校卒業（見込）者または鳥取県外高校の卒業（見込）者であっても「鳥取県に縁のある者」であれば出願可能 | 出願にあたってはあらかじめ鳥取県に奨学金の申請を行うことが必要<br>応募期間：R５年１０月頃<br>面接実施予定日：<br>R5年１１月下旬（予定） | 15万円/月<br>（年額180万円） | ６年間 | ①卒業から２年以内に医師免許を取得<br>②その後９年間を鳥取県職員（医師）として、知事が勤務を命ずる鳥取県内医療機関に勤務（臨床研修期間を含む） |
| 一般選抜（前期日程） | 地域枠 | 鳥取県 | １４人 | 卒業年度を問わない | 出身地、卒業高校の所在地は問わない | なし | 15万円/月<br>（年額180万円） | ６年間 | ①卒業から２年以内に医師免許を取得<br>②その後鳥取県内病院での臨床研修期間を含め12年以内に知事が指定する鳥取県内医療機関に9年間勤務。かつこの9年間のうち知事が指定した区域において4年（臨床研修期間を除く）以上勤務 |
| | | 兵庫県 | ２人 | 卒業年度を問わない | 出身高等学校が兵庫県内に所在すること、又は出願時において本人又は保護者が兵庫県内に居住していること | 志願所信書<br>住民票抄本<br>兵庫県の面接が別途あり | ・1 年次：2,335,800 円/年<br>入学金 ・授業料等 1,035,800 円<br>生活費 1,300,000 円<br>・2～6 年次：1,835,800 円/年<br>授業料 535,800 円、<br>生活費 1,300,000 円 | ６年間 | ①卒業から２年以内に医師免許を取得<br>②その後９年間を兵庫県職員（医師）として、知事が指定する医療機関等に勤務 |
| | | 島根県 | ５人 | 卒業年度を問わない | 出身高等学校は県内外を問わないが、卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し、地域医療に貢献する強い使命感を有していること | ① 臨床研修は島根県内病院<br>② 医師国家試験合格後12年以内に、①の期間を含めて9年間、キャリア形成プログラムで規定する島根県内の指定医療機関（うち4年以上は過疎地域の指定医療機関）に勤務 | ・修学費<br>100,000円/月<br>・授業料相当額<br>535,800円/年<br>・入学金相当額<br>282,000円/入学時 | ６年間 | ①卒業から２年以内に医師免許を取得<br>②医師国家試験合格後12年以内に、島根県内の指定医療機関で臨床研修を受け、かつ、その期間を含めて９年間、島根県内の指定医療機関（うち４年以上は過疎地域の指定医療機関）に勤務 |

**出願期間**

| 学校推薦型選抜Ⅱ | 令和５年１１月２日（木）～令和５年１１月９日（木） | 一般選抜（前期日程） | 令和6年１月22日（月）～令和6年1月31日（金） |
|---|---|---|---|

当該県内　県内県外指定なし

**勤務の例**

| 勤務の例 | | | １年目 | ２年目 | ３年目 | ４年目 | ５年目 | ６年目 | ７年目 | ８年目 | ９年目 | 10年目 | 11年目 | 12年目 | 13年目 | 14年目 | 15年目 | 16年目 | 17年目 | 18年目 | 19年目 | 20年目 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校推薦型選抜Ⅱ | 地域枠 | 鳥取県 | 初期臨床研修 | | 県内 | 県内 | | | | | | 県内 | 県内 | | | | | | | | | |
| | | | この期間（１１年間）の間に県内病院での臨床研修を含めて６年間を県内で勤務 | | | | | | | | | | 返還免除 | | | | | | | | | |
| | 特別養成枠 | 鳥取県 | 初期臨床研修 | | 専門研修 | 県内 | 県内 | 専門研修 | 県内 | 県内 | 県内 | | | | | | | | | | | |
| | | | この期間（９年間）を県が決定した医療機関で勤務 | | | | | | | | 返還免除 | | | | | | | | | | | |
| 一般選抜（前期日程） | 地域枠 | 鳥取県 | 初期臨床研修 | | 県内 | 県内 | 県内（指定区域） | 県内（指定区域） | 県内 | 県内（指定区域） | 県内（指定区域） | | | | | | | | | | | |
| | | | この期間（１２年間）の間に県内病院での臨床研修を含めて９年間を県内で勤務。かつ、この9年間のうち県が指定した区域において4年（臨床研修期間除く）以上勤務 | | | | | | | | 返還免除 | | | | | | | | | | | |
| | | 兵庫県 | 初期臨床研修 | | 県内 | 県内 | 県内 | 専門研修 | | 県内 | 県内 | | | | | | | | | | | |
| | | | この期間（９年間）を県が指定する医療機関等で勤務 | | | | | | | | 返還免除 | | | | | | | | | | | |
| | | 島根県 | 初期臨床研修 | | 県内 | 県内（過疎地域） | 県内（過疎地域） | 県内（過疎地域） | 県内 | 県内（過疎地域） | 県内 | | | | | | | | | | | |
| | | | この期間（１２年間）※1の間に、島根県内の指定医療機関で臨床研修を受け、かつ、その期間を含めて９年間、島根県内の指定医療機関（うち４年間は過疎地域の指定医療機関）で勤務 | | | | | | | | 返還免除 | | | | | | | | | | | |

※1 鳥取大学医学部附属病院での勤務期間（初期研修中を除く。）及び指定医療機関の長の指示による指定医療機関以外従事等期間（やむを得ない事由があると知事が認めたもの）がある場合は、両期間を通算して3年を上限にその期間は猶予期間から除外します。

奨学金制度の詳細については、必ず該当県のホームページ等で確認してください。

## ■卒業後の勤務条件等

| 入試区分 | 地域枠の名称 | 県別 | 勤務先 | 勤務先の決定 | 診療科 | 身分 | 初期研修 | 専門研修 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校推薦型選抜Ⅱ | 地域枠 | 鳥取県 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学附属病院（小児科・産科・救急科・精神科の場合は３年、がん薬物療法専門医・放射線治療専門医・感染症専門医を取得するための業務又は当該専門医としての業務に従事した場合は３年、その他の場合は１年を上限とする）、救急告示病院（鳥取大学附属病院を除く）、精神科救急医療施設等 | 各自が選択<br>◆返還免除の対象となる6年間の鳥取県内勤務先は、鳥取県がリスト形式で指定する | 限定しない | 各医療機関の職員 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加）<br>◆この期間は返還免除に係る年数として算定 | 各自が選択<br>鳥取県内の病院での実施を基本とする |
| | 特別養成枠 | 鳥取県 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院（鳥取大学附属病院、国関係機関を除くが、初期研修・後期研修の場合にあってはその限りではない） | 鳥取県が決定する<br>◆奨学金を受給した各医師の配置は本人の希望等を踏まえて、最終的に知事が決定する | 募集時には限定しない。ただし、卒業後の派遣先の診療科は、限定される。診療科については、入学後県が情報提供を行う（内科、総合診療科、産科、小児科、精神科、救急科など） | 鳥取県職員 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加）<br>◆この期間は返還免除に係る年数として算定 | 2年間を原則鳥取県内病院で実施<br>◆研修先は鳥取県内臨床研修病院など<br>◆実施時期、内容については、奨学金を受給した医師の希望を踏まえてある程度柔軟に決定する（奨学生医師の意見を踏まえて、最終的に県が決定） |
| 一般選抜（前期日程） | 地域枠 | 鳥取県 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学附属病院、救急告示病院、精神科救急医療施設等（４年間は知事の指定した区域内の指定医療機関） | 各自が選択<br>◆返還免除の対象となる９年間の鳥取県内勤務先は、鳥取県がリスト形式で指定する | 限定しない | 各医療機関の職員 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加）<br>◆この期間は返還免除に係る年数として算定 | 各自が選択<br>鳥取県内の病院での実施を基本とする |
| | | 兵庫県 | 兵庫県内のへき地等の市町立医療機関等 | 兵庫県が決定する | 募集時には限定しない。兵庫県内で必要とされる分野については、入学後情報提供を行う（総合診療、内科、産科、小児科、救急科など） | 兵庫県職員 | ◆研修先は兵庫県が決定<br>◆この期間は返還免除に係る年数として算定 | ２年間（卒後６～７年目）を兵庫県内の公的医療機関等で実施<br>◆研修先は希望を踏まえ兵庫県が決定 |
| | | 島根県 | 島根県内の指定医療機関に勤務（４年間は過疎地域（松江市・出雲市以外）の指定医療機関に勤務） | 各自が選択 | 限定しない | 各医療機関の職員 | ◆島根県内病院に限定（マッチング参加）<br>◆この期間は義務年数として算定 | 制度上は規定しない（各自が選択）<br>◆専門研修を島根県内の指定医療機関で行う場合は、義務年数として算定(ただし、診療行為を行わず専ら研修及び研究する場合を除く) |

※奨学金制度の詳細については、必ず該当県のホームページ等で確認してください。

## 基礎地域医療学

科目到達目標：自身の医療体験（患者・家族として）と地域医療の現場で使われる理論を結び付けながら理解する。

科目責任者（所属）：谷口　晋一（地域医療学）　　連絡先：学務課教務係（me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp）

| 回数 | 月日 | 時限 | 講義室 | 対面可授業方法 | 対面不可授業方法 | 授業内容 | 担当者 | 講座・分野・診療科 | 予習・復習内容 | 授業のキーワード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1/10(水) | 3 | | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | オリエンテーション<br>なぜ，「地域医療」を学ぶのか？ | 谷口　晋一 | 地域医療学 | 予習：地域医療学ハンドブックの地域医療の定義の部分を読んでおくこと。復習：講義中に課題を出します。 | 地域医療学の背景、プライマリ・ケア |
| 2 | 1/10(水) | 4 | | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 地域医療はどんな仕組みでやっているの？パート1～ 地域医療に関わる医師を育てる制度を中心に～ | 紙本　美菜子 | 鳥取県地域医療支援センター | 予習：厚労省「地域医療構想」についての一般的事項を知っておくこと。出身県やゆかりのある自治体の医療状況についての概要を知っておくこと。復習：講義中に課題を出します。 | 地域医療構想、医師不足、地域枠制度ほか |
| 3 | 1/17(水) | 3 | | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 地域医療はどんな仕組みでやっているの？～医療・保健・福祉における職種とその役割～ | 浜田　紀宏 | 地域医療学 | オンデマンド型授業の課題を行ってください. | 医師、看護職、リハビリテーション専門職、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー<br>日常生活動作（ADL）、不確実さ |
| 4 | 1/17(水) | 4 | | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 地域医療に関わる医師の思考に迫ってみよう！パート１～臨床推論から治療の決断まで～ | 今岡　慎太郎 | 地域医療学 | オンデマンド型授業の課題を行ってください. | 臨床推論<br>治療決断 |
| 5 | 1/24(水) | 3 | | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 地域医療に関わる医師の思考に迫ってみよう！パート２～患者さんのために医療を届けるために～ | 井上　和興 | （非常勤講師） | オンデマンド型授業の課題を行ってください. | 患者の病い<br>ナラティブ |
| 6 | 1/24(水) | 4 | | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 地域医療のキャリアパスパート1 | 朴　大昊 | （非常勤講師） | オンデマンド型授業の課題を行ってください. | 地域医療のキャリアパス |
| 7 | 1/31(水) | 3 | | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 地域医療のキャリアパスパート2 | 佐々木 紀仁<br>谷口　晋一 | （非常勤講師） | 予習：僻地医療、離島医療、都市部の地域医療について地域医療学ハンドブックの該当箇所を読んでおくこと。復習：講義中に課題を出します。 | 地域医療のキャリアパス、僻地と都市の地域医療 |
| 8 | 1/31(水) | 4 | | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 「医療」と「地域医療」の同じ点，違う点を言葉にしてみよう！ | 李　瑛 | 地域医療学 | 講義の中で課題を出します | セミナーの振り返り |

## 総合診療-症候学-

科目到達目標：症候学における基本的な思考方法と主要な主訴への対応を理解し、総合診療の現場における総合的な問題に模擬的に取り組むことができる

科目責任者（所属）：谷口　晋一（地域医療学）　　連絡先：0859-38-6661

| 回数 | 月日 | 時限 | 講義室 | 対面可<br>授業方法 | 対面不可<br>授業方法 | 授業内容 | 担当者 | 講座・<br>分野・診療科 | 予習・復習内容 | 授業のキーワード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10/5(木) | 3 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | オリエンテーション | 今岡　慎太郎 | 地域医療学 | 症候をテーマに学ぶことと、医師の診療の関連性について考えておく。 | 診断学総論、システム1/2思考 |
| 2 | 10/5(木) | 4 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 風邪症状を持つ患者のみかた | 今岡　慎太郎 | 地域医療学 | 自分がかぜを引いたときの対応や、受けた投薬について思い出しておく。 | 解剖×病態生理アプローチ、痛みのOPQRST |
| 3 | 10/12(木) | 3 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 頭痛患者のみかた | 井上　和興 | 地域医療学（非常勤講師） | 第1回・第2回の内容を復習しておく。復習した内容を頭痛の患者の時にどのようにその知識を使うことができるか、考えてくる。 | Red flag sign、VINDICATE、3つのC（Critical, Common, Curable） |
| 4 | 10/12(木) | 4 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 胸痛患者のみかた | 井上　和興 | 地域医療学（非常勤講師） | 第1回・第2回の内容を復習しておく。復習した内容をの胸痛患者の時にどのようにその知識を使うことができるか、考えてくる。 | 心原性・非心原性胸痛、INDICATE, 3つのC（Critical, Common, Curable） |
| 5 | 10/19(木) | 3 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 意識障害患者のみかた | 中井　翼 | 地域医療学 | 意識障害とはどのような状態を指し、どのように意識レベルを確認すれば良いのか予習しておく。 | 救急におけるカルテの書き方とプレゼンテーション、意識障害の定義、鑑別 |
| 6 | 10/19(木) | 4 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ショック患者のみかた | 中井　翼 | 地域医療学 | ショックとはどのような状態を指すのか予習しておく。 | 救急におけるカルテの書き方とプレゼンテーション、ショックの定義、鑑別 |
| 7 | 10/26(木) | 3 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 発熱患者のみかた | 井上　和興 | 地域医療学 | 発熱の症状を認める疾患をできるだけ多く書き出してくる。 | 認知バイアス、問診の仕方、感染性・非感染性発熱、VINDICATE、3つのC（Critical, Common, Curable） |
| 8 | 10/26(木) | 4 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 発熱患者のみかた | 井上　和興 | 地域医療学 | 発熱の症状を認める疾患をできるだけ多く書き出してくる。 | 認知バイアス、問診の仕方、感染性・非感染性発熱、VINDICATE、3つのC（Critical, Common, Curable） |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 11/2(木) | 3 | 431 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 咽頭痛患者のみかた | 李　瑛 | 地域医療学 | 予習：咽頭痛の鑑別について。復習：検査や治療について(講義で触れないので臓器別の講義などを参考にするといいと思います) | killer Sore Throat |
| 10 | 11/2(木) | 4 | 431 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 咳・痰患者のみかた | 李　瑛 | 地域医療学 | 予習：咳嗽の鑑別について。復習：検査や治療について(講義で触れないので臓器別の講義などを参考にするといいと思います) | 感度、特異度、ベイズの定理、グラム染色、呼吸音 |
| 11 | 12/7(木) | 3 | 112 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 失神患者のみかた | 今岡　慎太郎 | 地域医療学 | 「失神」という言葉の定義、失神の主な原因疾患について予習しておく。 | 症例プレゼンテーションの仕方、失神と意識障害、心原性・貧血・痙攣・神経調節性失神など |
| 12 | 12/7(木) | 4 | 112 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | めまい患者のみかた | 今岡　慎太郎 | 地域医療学 | 「めまい」という訴えはどのような状態で、めまいにはどのような原因が最も多いのか予習しておく。 | 症例プレゼンテーションの仕方、前失神、回転性、平衡障害、浮動性、急性重度、反復性頭位、反復性 |
| 13 | 12/14(木) | 3 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 腹痛患者のみかた | 李　瑛 | 地域医療学 | 予習：腹痛の鑑別について。復習：検査や治療について(講義で触れないので臓器別の講義などを参考にするといいと思います) | 体性痛、内臓痛、放散痛、カルテの書き方 |
| 14 | 12/14(木) | 4 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 嘔気・嘔吐患者のみかた | 李　瑛 | 地域医療学 | 予習：嘔気・嘔吐の鑑別について。復習：検査や治療について(講義で触れないので臓器別の講義などを参考にするといいと思います) | Reg flag sign、カルテの書き方 |
| 15 | 12/21(木) | 3 | 112 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 腹痛のある女性患者のみかた | 紙本　美菜子 | 鳥取県地域医療支援センター | 予習：月経の仕組みや実際について当事者でなくても理解しておく。<br>復習：腹痛全般と合わせた鑑別疾患を<br>整理し、産婦人科疾患各論についての<br>知識も補充する。 | 女性診察の特徴、カルテの書き方(現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、身体所見、システムレビュー) |
| 16 | 12/21(木) | 4 | 112 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 腹痛のある小児患者のみかた | 紙本　美菜子 | 鳥取県地域医療支援センター | 予習：小児診療一般，母子保健，予防接種についての基礎知識を予習しておく。復習：小児科疾患各論についての知識の補充など | 小児診察の特徴、カルテの書き方(現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、身体所見、システムレビュー) |
| 17 | 1/4(木) | 3 | 112 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 食欲不振患者のみかた | 孫　大輔 | 地域医療学 | 食欲不振の鑑別診断について予習しておく。特にSDH(健康の社会的決定要因)も関係するので、これについても予習しておく。 | 健康の社会的決定要因(Social Determinants of Health: SDH)、MEALS ON WHEELS |
| 18 | 1/4(木) | 4 | 112 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 体重減少・るいそうのある患者のみかた | 孫　大輔 | 地域医療学 | 体重減少の鑑別診断について予習しておく(MEALS ON WHEELSなど)。 | 健康の社会的決定要因(Social Determinants of Health: SDH)、MEALS ON WHEELS |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 19 | 1/11(木) | 3 | 112 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 認知機能が低下した患者のみかた | 浜田　紀宏 | 地域医療学 | 認知症は物忘れと同義ではないことを知っていただく：「認知症　健康長寿ネット」と入力して検索し、記事に目を通しておくこと。 | 場に応じたプレゼンテーション（入院時、救急現場、エレベーターピッチ）、意識障害と認知機能低下、認知機能低下患者との対話 |
| 20 | 1/11(木) | 4 | 112 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 歩行障害のある患者のみかた | 浜田　紀宏 | 地域医療学 | VINDICATE-P、OPQRSTに関して：皆さんのパソコンまたはモバイルで記事や文献を複数検索し、概要を知っておくこと。 | 場に応じたプレゼンテーション（入院時、救急現場、エレベーターピッチ）、意識障害と認知機能低下、認知機能低下患者との対話 |
| 21 | 1/18(木) | 3 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 関節痛のある患者のみかた | 谷口　晋一 | 地域医療学 | 関節痛の鑑別について予習しておく。高頻度の疾患、緊急で対処が必要な疾患を理解する。 | 場に応じたプレゼンテーション（学会、回診時）、関節痛の分類（単関節痛、多関節痛、初回、再発） |
| 22 | 1/18(木) | 4 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | 浮腫のある患者のみかた | 谷口　晋一 | 地域医療学 | 浮腫の鑑別について予習しておく。高頻度の疾患、緊急で対処が必要な疾患を理解する。 | 場に応じたプレゼンテーション（学会、回診時）、浮腫の分類（全身性、限局性、圧痕性、非圧痕性） |
| 23 | 1/25(木) | 3 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | まとめ | 今岡　慎太郎 | 地域医療学 | 第1～22回までの講義内容について振り返っておく。 | 症候学全体の振り返り |
| 24 | 1/25(木) | 4 | 122 | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | ﾊﾟﾀｰﾝ2遠隔(オンデマンド学習) | まとめ | 今岡　慎太郎 | 地域医療学 | 第1～22回までの講義内容について振り返っておく。 | 症候学全体の振り返り |

教育グランドデザインとの関連：2,3,4,5

学生授与の方針との関連：1,2,3,4

授業のレベル：3

評価：各講義毎に課すレポート50%、試験50%

実務経験との関連：総合診療医による講義やレポートを通し、実臨床に近い形で症候診断を学ぶ。

参考書
・誰も教えてくれなかった診断学
・The 臨床推論 研修医よ,診断のプロをめざそう!
・ジェネラリストのための内科診断リファレンス
・医学生からの診断推論
・診断戦略: 診断力向上のためのアートとサイエンス　・地域医療学ハンドブック：君たちは地域医療をどう学ぶか」（デザインエッグ社, 2022年）

## 研究室配属

科目到達目標：配属された基礎・臨床医学系教室において、研究に従事することにより、リサーチマインドを身につける。

科目責任者（所属教室）：海藤　俊行（解剖学）　　連絡先：0859-38-6438（学部教育支援室）

| 回数 | 月日 | 時限 | 講義室 | 授業内容 | 担当者 | 講座・<br>分野・診療科 | 予習・復習内容 | 授業のキーワード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 11/6(月) | 1～4 | 各教室 | 1. 研究テーマと研究計画は、各配属先にて学生の希望を加味しつつ調整、決定される。<br>2. 時限数　4時限×19回（4週間）＝76時限（11月6日～12月1日の月曜日～金曜日）<br>〈到達目標〉<br>1. 医学的な問題に関心を持ち、研究テーマを見出すことができる。<br>2. 自主的かつ積極的に研究に取り組むことができる。<br>3. 実験の計画、準備、実施を自ら行うことができる。<br>4. 得られたデータを解析し、発表（プレゼンテーション、レポート作成）することができる。<br>5. 小グループの中で協調性を発揮し、仲間と協力して研究を進めることができる。 | 配属先教員 | 配属先の<br>講座・分野・診療科 | 各配属先で指示された研究に関する予習復習を行うこと。 | 研究、実験、プレゼンテーション、レポート作成 |
| 2 | 11/7(火) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 3 | 11/8(水) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 4 | 11/9(木) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 5 | 11/10(金) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 6 | 11/13(月) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 7 | 11/14(火) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 8 | 11/15(水) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 9 | 11/16(木) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 10 | 11/17(金) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 11 | 11/20(月) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 12 | 11/21(火) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 13 | 11/22(水) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 14 | 11/24(金) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 15 | 11/27(月) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 16 | 11/28(火) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 17 | 11/29(水) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 18 | 11/30(木) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 19 | 12/1(金) | 1～4 | 各教室 | | | | | |
| 20 | 未定 | 1～4 | 未定 | 発表会<br>※正式な日程は定期試験の日程が決まる12月以降に周知します。<br>参考までに最近2年間は2/28に実施しています。再試験が終了したあと2月の下旬頃に実施する予定ですので、参加できるように予定を空けておいてください。 | 解剖学講座<br>学部教育支援室 | 解剖学講座<br>学部教育支援室 | | |

教育グランドデザインとの関連：1、2、3、4、5、6
学位授与の方針との関連：1、2
授業レベル：4
評価：実習科目であるので、全出席を原則とする。
　実習態度、プレゼンテーション、レポートなどをもとに評価する。
実務経験との関連：研究医や臨床医がその経験を生かして、研究を指導する。
教科書：なし

## 臨床地域医療学

科目到達目標: 地域医療およびプライマリ・ケアに必要な家庭医療・地域包括ケアの考え方を理解し説明できる。
以下の事項に関して理解し、概説できる: 地域医療、家庭医療、プライマリ・ケア、在宅医療、高齢者医療など。

科目責任者(所属教室):谷口 晋一(地域医療学)　　連絡先: 0859-38-6661 地域医療学講座

| 回数 | 月日 | 時限 | 講義室 | 対面可<br>授業方法 | 対面不可<br>授業方法 | 授業内容 | 担当者 | 講座・<br>分野・診療科 | 予習・復習内容 | 授業のキーワード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 6/8(木) | 1 | 431 | 対面 | ﾊﾟﾀｰﾝ3遠隔(リアルタイム学習) | プライマリ・ケアと地域医療 | 谷口 晋一 | 地域医療学 | 地域医療学の定義・理念(地域医療とは何か)を学習する。「地域医療学ハンドブック」第1～3章を予習および復習にあてること(約3時間)。 | 地域医療、家庭医療学、地域包括医療、プライマリケア |
| 2 | 6/8(木) | 2 | 431 | 対面 | ﾊﾟﾀｰﾝ3遠隔(リアルタイム学習) | 保健行政と地域医療 | 片岡 大輔 | 島根県健康福祉部健康推進課 課長(非常勤講師) | 離島で住民を支えるために医師として何が必要かを考える。離島・へき地医療に関する保健行政・公衆衛生について予習および復習すること(約1時間)。 | 離島・へき地医療、保健医療行政、公衆衛生 |
| 3 | 6/15(木) | 1 | 431 | 対面 | ﾊﾟﾀｰﾝ3遠隔(リアルタイム学習) | 生物心理社会モデルと複雑性への対処 | 紙本美菜子 | 鳥取県地域医療支援センター | 総合診療医が実践する生物心理社会モデルと複雑性への対処について学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてること(約1時間)。 | 地域医療、家庭医療学、プライマリケア、生物心理社会モデル(BPSモデル)、複雑性への対処 |
| 4 | 6/15(木) | 2 | 431 | 対面 | ﾊﾟﾀｰﾝ3遠隔(リアルタイム学習) | 地域志向のプライマリ・ケア | 孫 大輔 | 地域医療学 | 総合診療医が実践する地域志向性アプローチを学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてること(約1時間)。 | 地域志向性アプローチ、地域包括ケア、在宅ケア、地域診断、社会的処方 |
| 5 | 6/22(木) | 1 | 431 | 対面 | ﾊﾟﾀｰﾝ3遠隔(リアルタイム学習) | 地域医療に関わる多職種・施設・制度 | 浜田 紀宏 | 地域医療学 | 地域医療に関わるさまざまな職種、医療機関・施設、制度を学習する。「地域医療学ハンドブック」第4章を予習および復習にあてること(約1時間)。 | 多職種連携(チーム医療)、介護保険制度、主治医意見書 |
| 6 | 6/22(木) | 2 | 431 | 対面 | ﾊﾟﾀｰﾝ3遠隔(リアルタイム学習) | プライマリ・ケアと家庭医療 | 松下 明 | 奈義ファミリークリニック(非常勤講師) | 家庭医療の概念と方法論(PCCM、家族志向のケア、行動変容アプローチ)を学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてること(約3時間)。 | 家庭医療学、プライマリケア、患者中心の医療の方法、家族志向のケア、行動変容アプローチ |
| 7 | 6/29(木) | 1 | 431 | 対面 | ﾊﾟﾀｰﾝ3遠隔(リアルタイム学習) | 地域社会の高齢化に対応できる医療システムの構築 | 秋下 雅弘 | 東京大学加齢医学(非常勤講師) | 高齢者医療の特徴を理解し、医療システムとして展開する方策を考える。プライマリ・ケアにおける老年病学について予習および復習すること(約1時間)。 | 高齢者医療、老年症候群、フレイル、ポリファーマシー |
| 8 | 6/29(木) | 2 | 431 | 対面 | ﾊﾟﾀｰﾝ3遠隔(リアルタイム学習) | プライマリ・ケアと地域医療 | 谷口 晋一 | 地域医療学 | 地域医療における総合診療医の役割を理解する。地域医療を構成する要素・構造・考え方について学習する。「地域医療学ハンドブック」の該当箇所について予習および復習にあてること(約2時間)。 | 地域医療、家庭医療学、地域包括医療、プライマリケア |

教育グランドデザインとの関連: 1, 3, 4, 5, 6, 7
学位授与の方針との関連: 1, 2, 3, 4
授業レベル: 3
実務経験との関連: 現役の医師、保健行政担当者などが当該領域の基本的知識、実践方法に関して講義する。

評価: 毎回のビデオ講義を聴講したのち、MANABAにて公開する指定シートにレポートを記入する。複製不可。指定日の期限までにかならず入力を終了すること。
定期試験: 実施しない。 評価は各講義の課題レポートでおこなう。
教科書・参考書:「地域医療学ハンドブック:君たちは地域医療をどう学ぶか」(デザインエッグ社, 2022年)

## 地域医療体験

科目の目的:学習者自身の解釈(当たり前)を認識しながら、地域医療現場を観察することで、学習者自身を相対化する。
科目到達目標: 地域医療現場に参加し, 参与観察を行い, フィールドノーツ・電子ポートフォリオに記述することができる。

科目責任者(所属教室): 谷口 晋一(地域医療教育支援室)　　連絡先:地域医療学講座(38-6661 又は電子ポートフォリオシステム)

| 回数 | 月日 | 時限 | 講義室 | 対面可<br>授業方法 | 対面不可<br>授業方法 | 授業内容 | 担当者 | 講座・<br>分野・診療科 | 予習・復習内容 | 授業のキーワード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/5(水) | 1-4 | 431 | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 地域医療体験に関するワークショップ | 地域医療学講座<br>教員 | 地域医療学 | メールで告知するオンデマンド型授業を受講しておいてください. | 地域医療、参与観察、医療人類学、電子ポートフォリオ |
| 2 | 4/12(水) | 1-4 | 431 | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 地域医療体験に関するワークショップ | 地域医療学講座<br>教員 | 地域医療学 | 電子ポートフォリオシステムで告知するオンデマンド型授業を受講しておいてください. | 地域医療、参与観察、医療人類学、電子ポートフォリオ、公共交通機関 |
| 3 | 4/19(水) | 1-4 | 学外施設 | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う | 各施設職員・<br>地域医療学講座<br>教員 | 学外医療機関 | オンデマンド型授業を復習して, 実習に臨んでください. | 地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所、電子ポートフォリオ |
| 4 | 4/26(水) | 1-4 | 学外施設 | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う | 各施設職員・<br>地域医療学講座<br>教員 | 学外医療機関 | オンデマンド型授業・1回目の実習で自身が記述した電子ポートフォリオを復習して, 実習に臨んでください. | 地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所、電子ポートフォリオ |
| 5 | 5/10(水) | 1-4 | 学外施設 | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う | 各施設職員・<br>地域医療学講座<br>教員 | 学外医療機関 | オンデマンド型授業・1回目, 2回目の実習で自身が記述した電子ポートフォリオを復習して, 実習に臨んでください. | 地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所、電子ポートフォリオ |
| 6 | 5/17(水) | 1-4 | 学外施設 | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う | 各施設職員・<br>地域医療学講座<br>教員 | 学外医療機関 | オンデマンド型授業・1回目, 2回目, 3回目の実習で自身が記述した電子ポートフォリオを復習して, 実習に臨んでください. | 地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所、電子ポートフォリオ |
| 7 | 5/24(水) | 1-4 | 431 | 対面 | パターン2遠隔(オンデマンド学習) | 成果に関するワークショップと総括 | 地域医療学講座<br>教員 | 地域医療学 | オンデマンド型授業/フィールドノーツ・電子ポートフォリオに記述した内容を復習して, 総括に臨んでください. | グループワーク、プレゼンテーション |

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4
授業レベル: 3
評価:各施設職員による評価、電子ポートフォリオに対する形成的評価、最終日のワークショップを加味して総合的に判断する。
実務経験との関連:医師やメディカルスタッフは地域医療現場に医学生の参加を促す。また医学生の振り返りを支援する。
電子ポートフォリオ: 各医療機関で観察し、フィールドノーツに観察した内容を記述します。そのフィールドノーツに記載した観察内容・その解釈を、電子ポートフォリオに記述します。入力期限は同じ週の金曜日で、教員が次週の火曜日までにフィードバックします。
実習の振り返り会: 本実習に対する医学生、参加医療機関からの評価を行うため、5月末～6月に県西部・県東部で実習先の医療スタッフのみなさんを交えて、意見交換会)を行います(対面かオンラインで)。

その他: 実習する医療機関、交通手段等の詳細は追ってお伝えします。
オリエンテーションや実習前後のワークショップは対面とオンライン型(オンデマンド型授業・リアルタイム型授業など)とのハイブリットで実施する予定です。集合並びに終了時刻に変更があれば、適宜ご連絡します。
おそらく4/19～5/17の4回のうち1回は学内で演習する見込みです。ほとんどの医療機関では今春以降も引き続き積極的な感染防止策が実施されるためです。

参考書: 地域医療学ハンドブック: 君たちは地域医療をどう学ぶか(デザインエッグ社)
佐藤 郁哉著:フィールドワークの技法—問いを育てる、仮説をきたえる - 新曜社 2002
松村圭一郎ら編:文化人類学の思考法 世界思想社 2019 臨床症例／事例で学ぶ医師・医学生のための人類学・社会学 ナカニシヤ出版 2021

第２０２３００１２９２７２号
令 和 ５ 年 ８ 月 １ ６ 日

厚生労働省医政局長　様

鳥取県福祉保健部長
（公　印　省　略）

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和５年８月８日付け５文科高第６６９号、医政発０８０７第１２号に基づき、下記のとおり、令和６年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

今後、地域の医師確保等に関する計画に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

１　増員数
　１９名
　・鳥取大学医学部における地域枠：１８名
　・岡山大学医学部における地域枠：　１名

（担当）
福祉保健部健康医療局医療政策課
医療人材確保室　濱﨑
電話番号：０８５７－２６－７１９５
メールアドレス：ishikakuho@pref.tottori.lg.jp

写

（公印省略）
医第２０５７号
令和５年８月14日

厚生労働省医政局長　様

兵庫県知事　齋藤　元彦

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和５年８月８日付け５文科高第６６９号、医政発0807第12号に基づき、下記のとおり、令和６年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。
地域の医師確保等を含めた本県の保健医療計画に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数
１６名
・兵庫医科大学医学部における地域枠：２名
・神戸大学医学部における地域枠：１０名
・岡山大学医学部における地域枠：２名
・鳥取大学医学部における地域枠：２名

担当：保健医療部医務課医療人材確保班　武内
電話番号：078-341-7711　（内線3230）

写

医 第 ６ ３ １ 号
令和５年８月１０日

厚生労働省医政局長　様

島根県知事　丸山　達也

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和５年８月８日付け５文科高第６６９号、医政発 0807 第 12 号に基づき、下記のとおり、令和６年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。
地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数
　１７名
・島根大学医学部における地域枠：１２名
・鳥取大学医学部における地域枠：　５名

担　　当：島根県健康福祉部医療政策課
医師確保対策室　河野　智子
電話番号：０８５２－２２－５２５１
メールアドレス：iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

# 教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 授業形態 講義 | 授業形態 演習 | 授業形態 実験・実習 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全学共通科目 | 入門科目 | 大学入門ゼミ | 1前 | 0.5 | | | | ○ | | 6 | 0 | 1 | 1 | 0 | | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 情報リテラシ | 1前 | 2 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | キャリア入門 | 1前 | 1 | | | ○ | | | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 兼3 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | データサイエンス入門 | 1前 | 1 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼2 | |
| | | **小計（4科目）** | － | 4.5 | 0 | 0 | － | | | 9 | 0 | 1 | 3 | 0 | 兼6 | － |
| | 教養科目 | 主題科目 人間と文化 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 基礎手話言語 | 1前 | 2 | | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 医療手話言語 | 1･2後 | | 2 | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 日本の文化と心 | 2･3前 | | 2 | | ○ | | | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 兼5 | |
| | | 日本のポップカルチャー | 1後 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | | |
| | | 社会福祉援助論 | 1後 | | 2 | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼4 | |
| | | 囲碁入門 | 1後 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 刑事法入門 | 1～3前 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 人間と科学 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | プログラミング入門 | 1･2後 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 人間と環境 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 環境科学 | 2･3前 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼6 | |
| | | 世界と地域 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 「民藝」という美学 | 1～3後 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼9 | |
| | | キャリア科目 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 基幹科目 （人文･社会分野） | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 生活と法律　刑法 | 1･2後 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 哲学･倫理学 | 1･2後 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 心理学 | 2後 | 2 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 兼4 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 英文学 | 2･3前 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 生命倫理学 | 2前 | 2 | | | ○ | | | 2 | 1 | 1 | 3 | 0 | | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 経営学入門 | 2･3前 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼7 | |
| | | 憲法学 | 1～3前後 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 法律学 | 1～3前 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 政治学 | 1～3後 | | 2 | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | （自然分野） | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 基礎生物学 | 1前 | 2 | | | ○ | | | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 兼6 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎物理学 | 1前 | 2 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 基礎化学 | 1前 | 2 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 基礎数学 | 1前 | 2 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | （実験演習分野） | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 早期体験･ボランティア | 1前 | 1 | | | | ※ | ○ | 5 | 0 | 1 | 1 | 0 | 兼3 | ※演習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | ヒューマンコミュニケーションⅠ | 1前 | 2 | | | | ○ | | 4 | 1 | 1 | 1 | 0 | 兼6 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | ヒューマンコミュニケーションⅡ | 2後 | 1 | | | | ○ | | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 兼5 | |
| | | **小計（24科目）** | － | 18 | 32 | 0 | － | | | 19 | 2 | 6 | 9 | 0 | 兼67 | － |
| | 外国語科 | （英語） | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コミュニケーション英語A | 1前 | 1 | | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼3 | |
| | | コミュニケーション英語B | 1後 | 1 | | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼3 | |
| | | 医療英語Ⅰ | 2前 | 1 | | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼3 | |
| | | 医療英語Ⅱ | 2後 | 1 | | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼3 | |
| | | 応用英語Ⅰ | 3前 | 1 | | | | ○ | | 2 | 1 | 1 | 3 | 0 | | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 応用英語Ⅱ | 3後 | 1 | | | | ○ | | 2 | 1 | 1 | 3 | 0 | | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | ドイツ語基礎Ⅰ | 1前 | | 1 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | ドイツ語基礎Ⅱ | 1後 | | 1 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 目 | フランス語基礎Ⅰ | 1前 | | 1 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | フランス語基礎Ⅱ | 1後 | | 1 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 中国語基礎Ⅰ | 1前 | | 1 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 中国語基礎Ⅱ | 1後 | | 1 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | ロシア語基礎Ⅰ | 1前 | | 1 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | ロシア語基礎Ⅱ | 1後 | | 1 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | **小計(14科目)** | － | 6 | 8 | 0 | | － | | 4 | 2 | 2 | 6 | 0 | 兼20 | － |
| | 健康スポーツ科学実技 | | 1前 | 1 | | | | ○ | | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 兼2 | |
| | 全学共通科目　合計 | | － | 29.5 | 40 | 0 | | － | | 32 | 4 | 10 | 19 | 0 | 兼95 | － |
| | 基礎医学系 | 行動科学 | 1後 | 1 | | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼6 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎医学体験 | 1後 | 0.5 | | | | | ○ | 12 | 11 | 8 | 25 | 0 | | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 最新診断・治療学 | 1後 | 0.5 | | | ○ | | | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 医学史 | 1後 | 0.5 | | | ○ | | | 7 | 0 | 1 | 0 | 0 | | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 実験動物学 | 1後 | 0.5 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼3 | |
| | | 医用統計学 | 1後 | 0.5 | | | ○ | ※ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | ※演習 |
| | | 基礎地域医療学 | 1後 | 0.5 | | | ○ | | | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 兼4 | |
| | | 免疫生物学 | 1後 | 1 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼3 | |
| | | 遺伝生化学 | 1後 | 1 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 兼4 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 発生医学 | 1後 | 0.5 | | | ○ | | | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 兼5 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 細胞組織学 | 1後 | 1.5 | | | ○ | | ※ | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 細胞生理学 | 1後 | 2 | | | ○ | | | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 兼3 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 細胞生化学 | 1後 | 2 | | | ○ | | | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 兼1 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎薬理学 | 2前 | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 兼2 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 医科栄養学 | 3前 | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 兼3 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎消化器学 | 2前 | 1 | | | ○ | | ※ | 4 | 1 | 0 | 2 | 0 | 兼2 | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎循環器学 | 2前 | 2 | | | ○ | | ※ | 4 | 2 | 0 | 3 | 0 | | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎呼吸器学 | 2前 | 1 | | | ○ | | ※ | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎運動器学 | 1前 | 2 | | | ○ | | ※ | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 兼4 | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎泌尿器・生殖器学 | 2前 | 1.5 | | | ○ | | ※ | 4 | 2 | 0 | 4 | 0 | 兼3 | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎感覚器学 | 2前 | 1.5 | | | ○ | | ※ | 5 | 1 | 1 | 2 | 0 | 兼4 | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎神経学 | 2前 | 2 | | | ○ | | ※ | 4 | 3 | 0 | 3 | 0 | 兼1 | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎内分泌・代謝・血液学 | 2前 | 1.5 | | | ○ | | ※ | 6 | 2 | 1 | 3 | 0 | 兼1 | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 解剖学実習 | 2通 | 3.5 | | | | | ○ | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | | |
| | | 基礎感染症学・実習 | 2後 | 6 | | | ○ | ※ | ※ | 2 | 3 | 2 | 4 | 0 | 兼3 | ※演習・実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎医学実習 | 2前 | 1.5 | | | | | ○ | 4 | 2 | 1 | 7 | 0 | | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 病理学総論 | 2後 | 2 | | | ○ | | ※ | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | | ※実習 |
| | | 病理学各論 | 3前 | 2 | | | ○ | | ※ | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 兼3 | ※実習 |
| | | 社会環境医学 | 2後 | 2 | | | ○ | | | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 兼6 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 疫学と予防医学 | 3前 | 1 | | | ○ | | | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 兼2 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 法医学 | 4前 | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 兼2 | |
| | | 社会医学チュートリアル・実習 | 4通 | 2.5 | | | | ○ | ※ | 3 | 2 | 1 | 2 | 0 | 兼2 | ※実習/ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 研究室配属 | 3後 | 3.5 | | | | | ○ | 35 | 22 | 22 | 63 | 0 | 兼27 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 基礎医学特論 | 2後 | 0.5 | | | ○ | | | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 兼3 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | **小計(34科目)** | － | 52 | | | | － | | 118 | 66 | 47 | 140 | 0 | 兼99 | － |
| 専門科目 | | メディカルコミュニケーション | 3後 | 0.5 | | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼2 | |
| | | 臨床遺伝学 | 3後 | 1 | | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼3 | |
| | | 総合診療-症候学- | 3後 | 1.5 | | | ○ | | | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | 兼2 | |
| | | 画像診断入門 | 2後 | 0.5 | | | ○ | | | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 兼2 | |
| | | 臨床内分泌・代謝学 | 3前 | 1 | | | ○ | | | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 兼2 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 診断学 | 3前 | 2 | | | ○ | | | 7 | 1 | 2 | 0 | 0 | 兼14 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 放射線診断学 | 3前 | 1 | | | ○ | | | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 兼7 | |
| | | 治療学 | 3前 | 2 | | | ○ | | | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 兼8 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床消化器学 | 3前 | 2.5 | | | ○ | | | 4 | 4 | 2 | 2 | 0 | 兼14 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床循環器学 | 3前 | 2.5 | | | ○ | | | 1 | 2 | 3 | 2 | 0 | 兼13 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床呼吸器学 | 3前 | 2 | | | ○ | | | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼10 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床運動器学 | 3後 | 1.5 | | | ○ | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 兼8 | |
| | | 臨床神経学 | 3後 | 2.5 | | | ○ | | | 4 | 4 | 1 | 3 | 0 | 兼14 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 眼科学 | 3後 | 1 | | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 兼7 | |
| | | 臨床泌尿器学 | 3後 | 1.5 | | | ○ | | | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 兼4 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床生殖器学 | 3後 | 1.5 | | | ○ | | | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 兼8 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 臨床医学系 | 臨床血液学 | 3後 | 1 | | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 兼2 | |
| | | 神経精神医学 | 3後 | 1.5 | | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 兼7 | |
| | | 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 | 4前 | 1 | | | ○ | | | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 兼8 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 皮膚科学 | 4前 | 1 | | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 兼7 | |
| | | 産科学 | 4前 | 1.5 | | | ○ | | | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 兼4 | |
| | | 臨床成長・発達学 | 4前 | 3 | | | ○ | | | 2 | 1 | 0 | 5 | 0 | 兼18 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床感染症学 | 4前 | 1.5 | | | ○ | | | 3 | 1 | 1 | 2 | 0 | 兼12 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 総合感染症学・実習 | 4前 | 1 | | | ○ | | ※ | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 兼3 | ※実習 |
| | | 臨床腫瘍学 | 4前 | 0.5 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼5 | |
| | | 免疫・アレルギー | 4前 | 1 | | | ○ | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 兼4 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 麻酔科学 | 4前 | 1 | | | ○ | | | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 兼8 | |
| | | 救急医学 | 4前 | 1 | | | ○ | | | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 兼6 | |
| | | 老年医学 | 4後 | 0.5 | | | ○ | | | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 兼4 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 医療情報学 | 4後 | 1 | | | ○ | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 兼1 | |
| | | 地域医療体験 | 4前 | 1 | | | | ※ | ○ | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | | ※演習 |
| | | PBLチュートリアル | 4前 | 3 | | | | ○ | | 6 | 4 | 5 | 13 | 0 | 兼65 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床地域医療学 | 4前 | 0.5 | | | ○ | | | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 兼4 | |
| | | 臨床医学特論 | 4後 | 1.5 | | | ○ | | | 4 | 1 | 1 | 1 | 0 | 兼12 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床実習入門 | 4後 | 4 | | | | ○ | | 7 | 3 | 5 | 19 | 0 | 兼65 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床実習ＩＡ | 4後 | 5 | | | | | ○ | 23 | 12 | 14 | 38 | 0 | 兼121 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床実習ＩＢ | 5通 | 30 | | | | | ○ | 23 | 12 | 14 | 38 | 0 | 兼121 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | 臨床実習Ⅱ | 6通 | 18 | | | | | ○ | 23 | 12 | 14 | 38 | 0 | 兼121 | ｵﾑﾆﾊﾞｽ |
| | | **小計（38科目）** | － | 104 | | | － | | | 134 | 68 | 76 | 192 | 0 | 兼716 | － |
| 合計（115科目） | | | － | 185.5 | 40 | 0 | － | | | 284 | 138 | 133 | 351 | 0 | 兼910 | － |

| 学位又は称号 | 学士（医学） | 学位又は学科の分野 | 医学関係 |
|---|---|---|---|

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|---|---|---|
| 入門科目から4.5単位、主題科目、キャリア科目、基幹科目（人文・社会分野）から14単位以上、基幹科目（自然分野）から8単位、基幹科目（実験演習分野）から4単位を修得すること。外国語科目から8単位以上修得すること。全学共通科目39.5単位以上、専門科目156単位を修得すること。 | １学年の学期区分 | 2学期 |
| | １学期の授業期間 | 15週 |
| | １時限の授業時間 | 90分 |

（注）

1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。

2　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。

4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

5　「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。

6　課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。

（１）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。

（２）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。

（３）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。